

平成27年度
県内避難者アンケート調査結果

平成 2 7 年 8 月

秋 田 県 企 画 振 興 部

総合政策課被災者受入支援室

目 次

I	調査の趣旨・概要	・	・	・	・	・	P	1
II	主な設問に対する回答							
	【1】 避難元の県	・	・	・	・	・	P	2
	【2】 回答者の年代	・	・	・	・	・	P	2
	【3】 現在の住居	・	・	・	・	・	P	3
	【4】 世帯構成	・	・	・	・	・	P	4
	【5】 住民票の異動	・	・	・	・	・	P	5
	【6】 住民票を異動しない理由	・	・	・	・	・	P	5
	【7】 秋田県に避難してきた理由	・	・	・	・	・	P	6
	【8】 秋田県内での相談相手	・	・	・	・	・	P	7
	【9】 主な生活資金	・	・	・	・	・	P	8
	【10】 生活費の変化	・	・	・	・	・	P	9
	【11】 心身の不調	・	・	・	・	・	P	10
	【12】 不調を訴える方	・	・	・	・	・	P	10
	【13】 不便を感じる行政サービス	・	・	・	・	・	P	11
	【14】 情報提供の状況	・	・	・	・	・	P	12
	【15】 情報提供の手段	・	・	・	・	・	P	13
	【16】 秋田県内での就労者の有無	・	・	・	・	・	P	14
	【17】 就労者	・	・	・	・	・	P	15
	【18】 就労形態	・	・	・	・	・	P	16
	【19】 就職活動	・	・	・	・	・	P	17
	【20】 就労希望者の希望職種	・	・	・	・	・	P	18
	【21】 就労希望者の希望雇用形態	・	・	・	・	・	P	19
	【22】 今後の予定	・	・	・	・	・	P	20
	【23】 秋田県での定住期間	・	・	・	・	・	P	22
	【24】 定住を決めた理由	・	・	・	・	・	P	23
	【25】 定住にあたって必要な支援	・	・	・	・	・	P	24
	【26】 定住の際の住居	・	・	・	・	・	P	25
	【27】 帰県の時期を決められない理由	・	・	・	・	・	P	26
	【28】 必要な支援	・	・	・	・	・	P	27
III	自由記述:主なもの							
	【1】 避難先の自治体に対する要望	・	・	・	・	・	P	29
	【2】 国に対する要望	・	・	・	・	・	P	33
	【3】 避難元の自治体に対する要望	・	・	・	・	・	P	37
	【4】 避難者支援に関する意見	・	・	・	・	・	P	40
IV	経年比較	・	・	・	・	・	P	43
V	アンケート調査票	・	・	・	・	・	P	49

I 調査の趣旨・概要

1 目的

東日本大震災から4年4ヵ月が経過したが、秋田県に避難してきた方々の避難生活も長期化していることから、改めて、支援ニーズを把握し、今後の支援施策の検討の参考とするとともに、避難している方々の思いを被災県や避難元市町村等に伝えることを目的とする。

2 実施時期等

平成27年6月22日に対象世帯へ調査用紙を郵送

3 対象世帯

県内の避難世帯 354世帯

4 回収方法

郵送によるアンケート調査票の回収

5 回答率

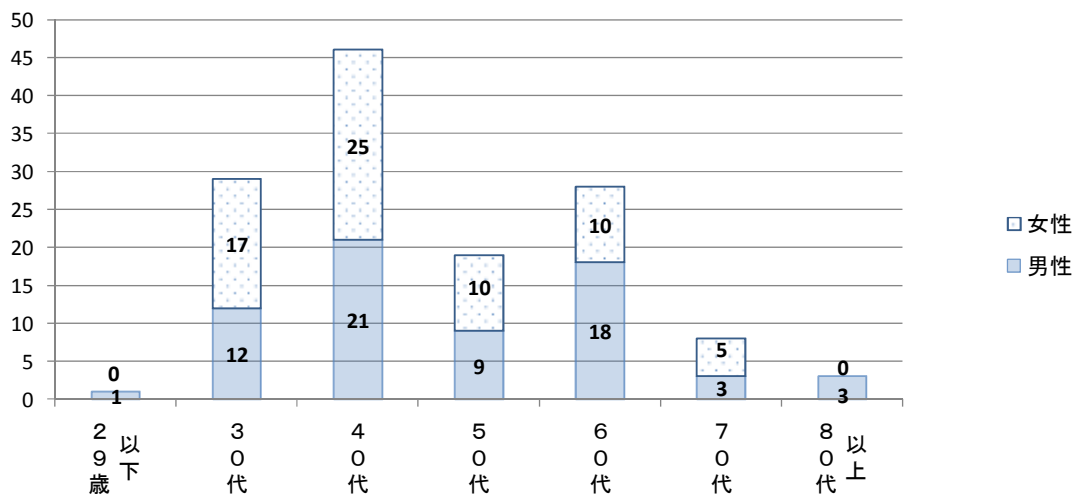
37.9%（134世帯）

Ⅱ 主な設問に対する回答

【1】避難元の県

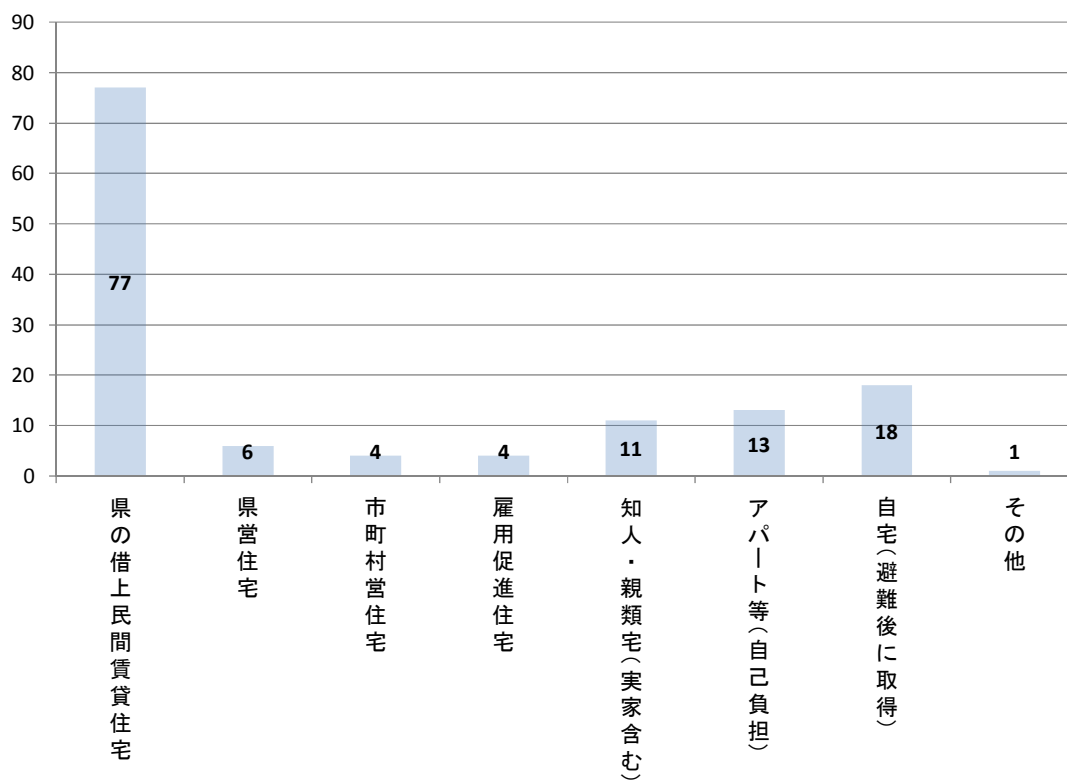
		回答世帯数	回答世帯数 に占める割合	配布数	県別回答 率
①	岩手県	7	5.2%	19	36.8%
②	宮城県	25	18.7%	97	25.8%
③	福島県	102	76.1%	238	42.9%
	合計	134		354	37.9%

【2】回答者の年代



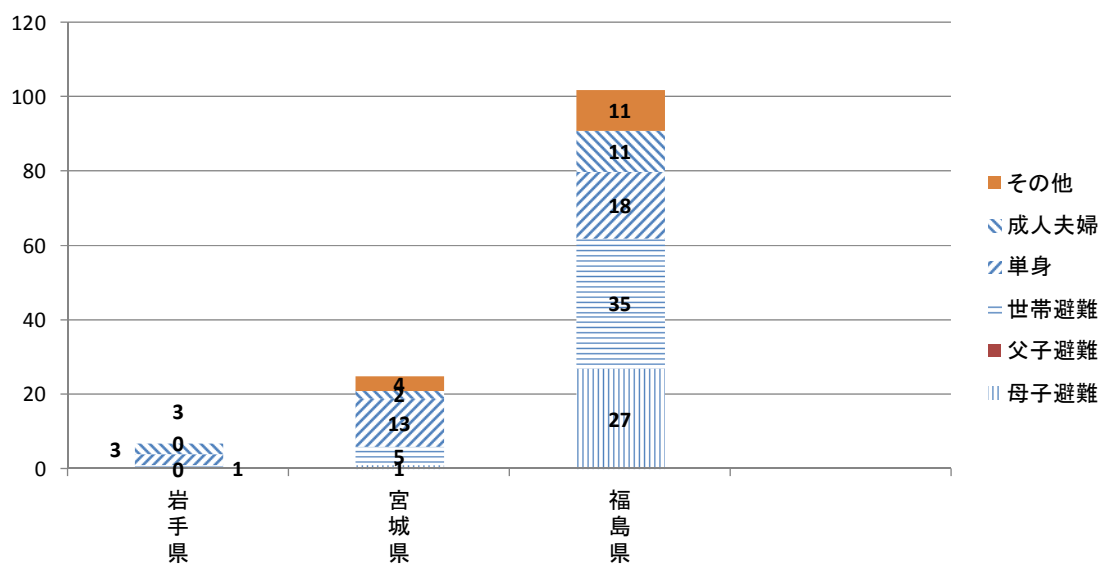
		内 訳					
		男性	女性	合計	岩手県	宮城県	福島県
①	29歳以下	1	0	1	0	0	1
②	30代	12	17	29	0	3	26
③	40代	21	25	46	2	5	39
④	50代	9	10	19	1	5	13
⑤	60代	18	10	28	2	10	16
⑥	70代	3	5	8	0	2	6
⑦	80代以上	3	0	3	2	0	1
	合計	67	67	134	7	25	102

【3】現在の住居



		内 訳				
		回答世帯	割合	岩手県	宮城県	福島県
①	県の借上民間賃貸住宅	77	57.5%	3	11	63
②	県営住宅	6	4.5%	1	2	3
③	市町村営住宅	4	3.0%	2	0	2
④	雇用促進住宅	4	3.0%	0	0	4
⑤	知人・親類宅(実家含む)	11	8.2%	0	2	9
⑥	アパート等(自己負担)	13	9.7%	0	7	6
⑦	自宅(避難後に取得)	18	13.4%	1	3	14
⑧	その他	1	0.7%	0	0	1
合計		134		7	25	102

【4】 世帯構成



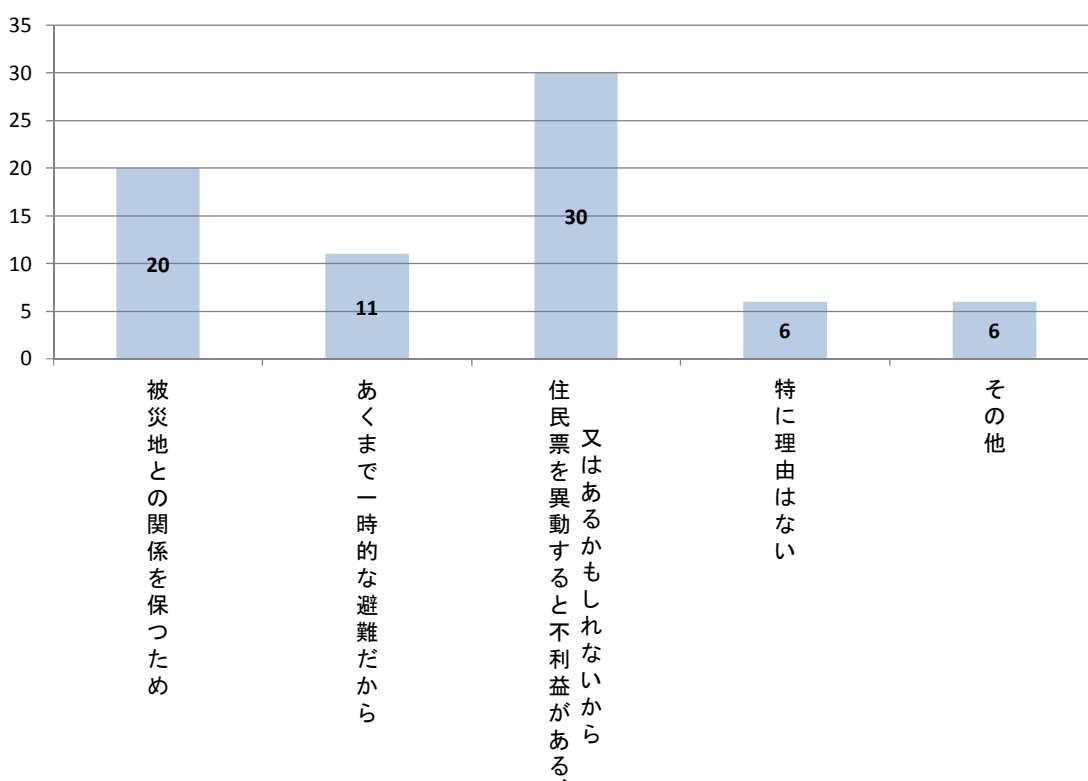
				内 訳		
		回答世帯	割合	岩手県	宮城県	福島県
子育て世帯	母子避難	28	20.9%	0	1	27
	父子避難	0	0.0%	0	0	0
	世帯避難	41	30.6%	1	5	35
成人世帯	単身	34	25.4%	3	13	18
	成人夫婦	16	11.9%	3	2	11
	その他	15	11.2%	0	4	11
合計		134		7	25	102

【5】 住民票の異動

				内 記		
		回答世帯	割合	岩手県	宮城県	福島県
①	全員異動している	65	48.5%	4	18	43
②	全員異動していない	60	44.8%	2	5	53
③	一部だけ異動している	8	6.0%	0	2	6
	合 計	133		6	25	102

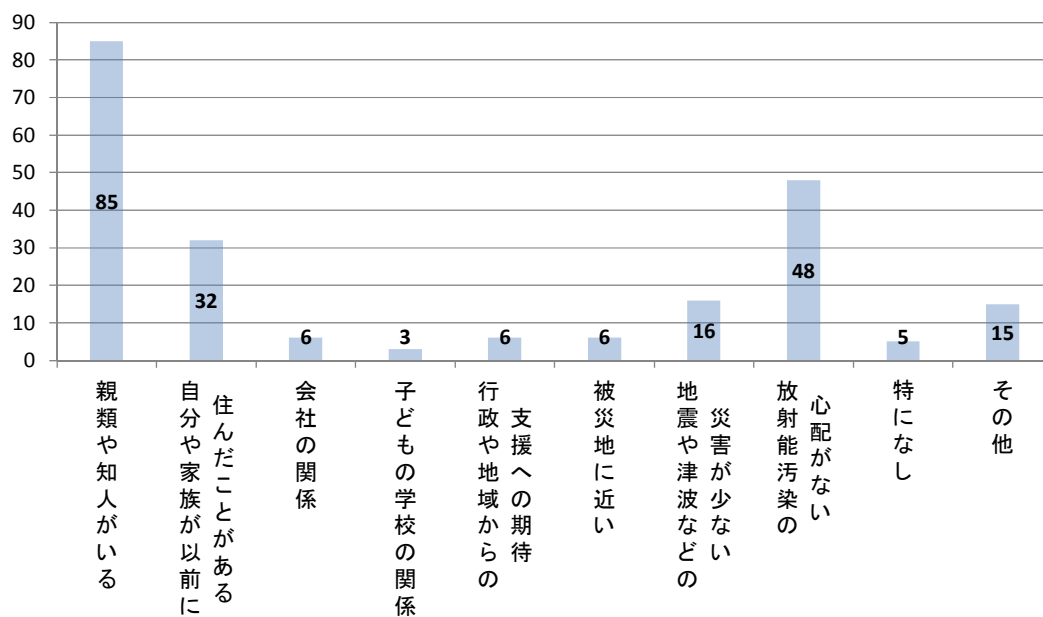
無回答:1名

【6】 住民票を異動しない理由(複数回答有り)



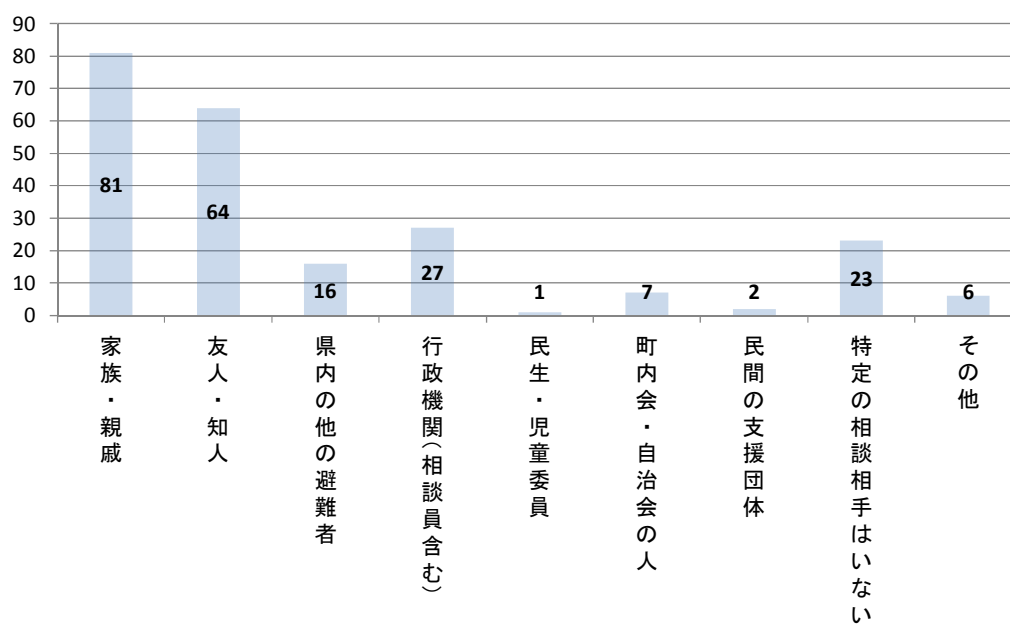
			内 訳				
			回答世帯	割合	岩手県	宮城県	福島県
①	被災地との関係を保つため		20	29.4%	2	3	15
②	あくまで一時的な避難だから		11	16.2%	0	1	10
③	住民票を異動すると不利益がある、 又はあるかもしれないから		30	44.1%	1	1	28
④	特に理由はない		6	8.8%	0	1	5
⑤	その他		6	8.8%	0	2	4
	合計		73		3	8	62

【7】 秋田県に避難してきた理由(Q2:複数回答可)



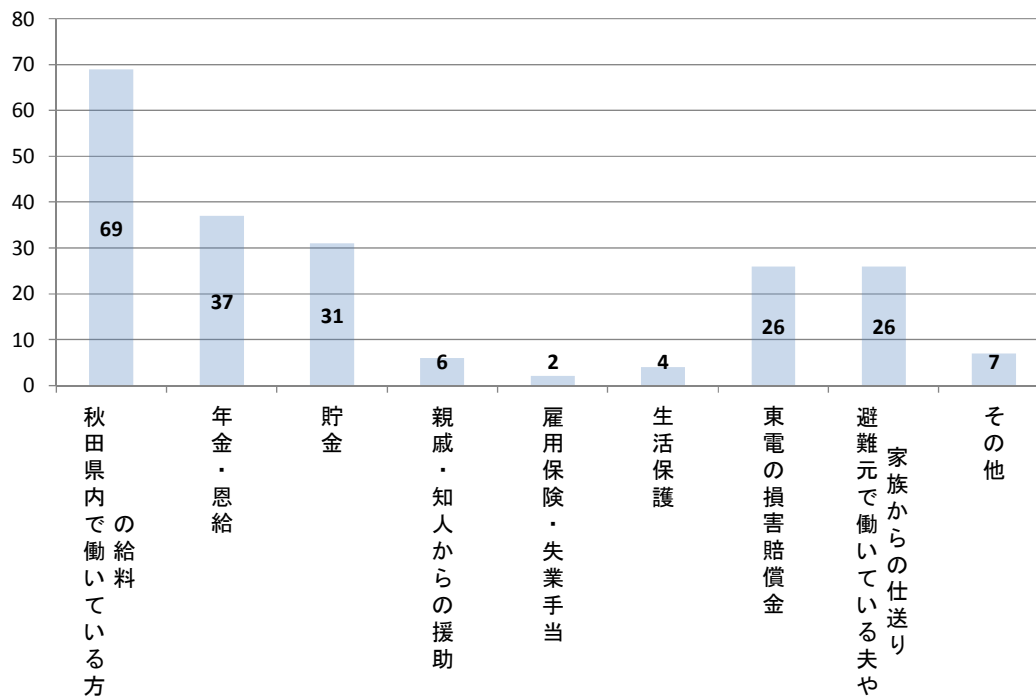
				内 訳		
		回答世帯	割合	岩手県	宮城県	福島県
①	親類や知人がいる	85	63.4%	6	16	63
②	自分や家族が以前に住んだことがある	32	23.9%	3	5	24
③	会社の関係	6	4.5%	1	2	3
④	子どもの学校の関係	3	2.2%	0	1	2
⑤	行政や地域からの支援への期待	6	4.5%	1	0	5
⑥	被災地に近い	6	4.5%	0	1	5
⑦	地震や津波などの災害が少ない	16	11.9%	1	3	12
⑧	放射能汚染の心配がない	48	35.8%	0	2	46
⑨	特になし	5	3.7%	0	2	3
⑩	その他	15	11.2%	0	3	12
合計		222		12	35	175

【8】 秋田県内での相談相手(Q3:複数回答可)



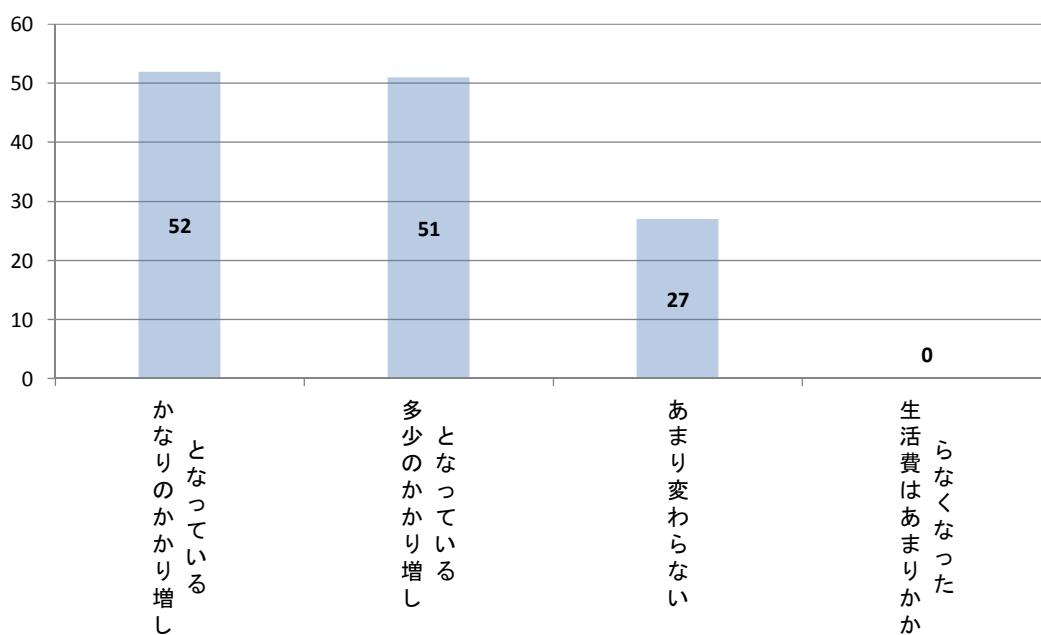
				内 訳		
		回答世帯	割合	岩手県	宮城県	福島県
①	家族・親戚	81	60.4%	7	11	63
②	友人・知人	64	47.8%	3	12	49
③	県内の他の避難者	16	11.9%	0	2	14
④	行政機関(相談員含む)	27	20.1%	2	5	20
⑤	民生・児童委員	1	0.7%	0	0	1
⑥	町内会・自治会の人	7	5.2%	1	1	5
⑦	民間の支援団体	2	1.5%	1	0	1
⑧	特定の相談相手はいない	23	17.2%	0	6	17
⑨	その他	6	4.5%	0	2	4
合計		227		14	39	174

【9】 主な生活資金(Q4:複数回答可)



				内 訳		
		回答世帯	割合	岩手県	宮城県	福島県
①	秋田県内で働いている方の給料	69	51.5%	3	13	53
②	年金・恩給	37	27.6%	5	8	24
③	貯金	31	23.1%	1	3	27
④	親戚・知人からの援助	6	4.5%	1	1	4
⑤	雇用保険・失業手当	2	1.5%	0	0	2
⑥	生活保護	4	3.0%	0	1	3
⑦	東電の損害賠償金	26	19.4%	0	0	26
⑧	避難元で働いている夫や家族からの仕送り	26	19.4%	0	1	25
⑨	その他	7	5.2%	0	2	5
合計		208		10	29	169

【10】生活費の変化(Q5)

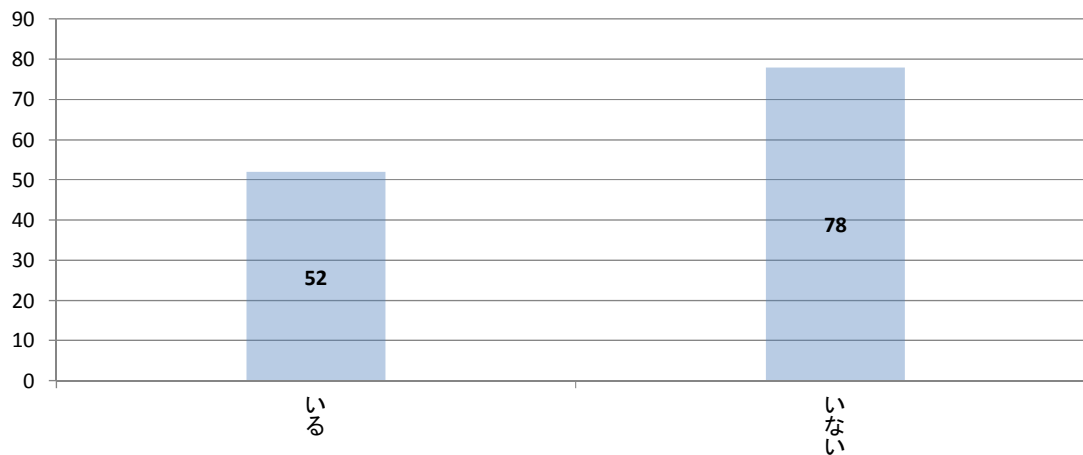


				内 訳		
				岩手県	宮城県	福島県
①	かなりのかかり増し となっている	回答世帯 52	割合 38.8%	0	3	49
②	多少のかかり増し となっている	51	38.1%	5	13	33
③	あまり変わらない	27	20.1%	1	9	17
④	生活費はあまりかか らなくなった	0	0.0%	0	0	0
合計		130		6	25	99

無回答: 4名

				内 訳	
				子育て世帯	成人世帯
①	かなりのかかり増し となっている	回答世帯 52	割合 38.8%	35	17
②	多少のかかり増し となっている	51	38.1%	21	30
③	あまり変わらない	27	20.1%	12	15
④	生活費はあまりかか らなくなった	0	0.0%	0	0
合計		130		68	62

【11】 現在、同居の家族の中で、秋田県内に避難してから、「眠れない」「集中力の低下」「イライラする」といった精神面の不調や「体がだるい」「めまいや頭痛」といった身体の不調を訴えるようになった方はありますか。(Q6)



				内 訳		
		回答世帯	割合	岩手県	宮城県	福島県
①	いる	52	38.8%	3	9	40
②	いない	78	58.2%	4	14	60
合計		130		7	23	100

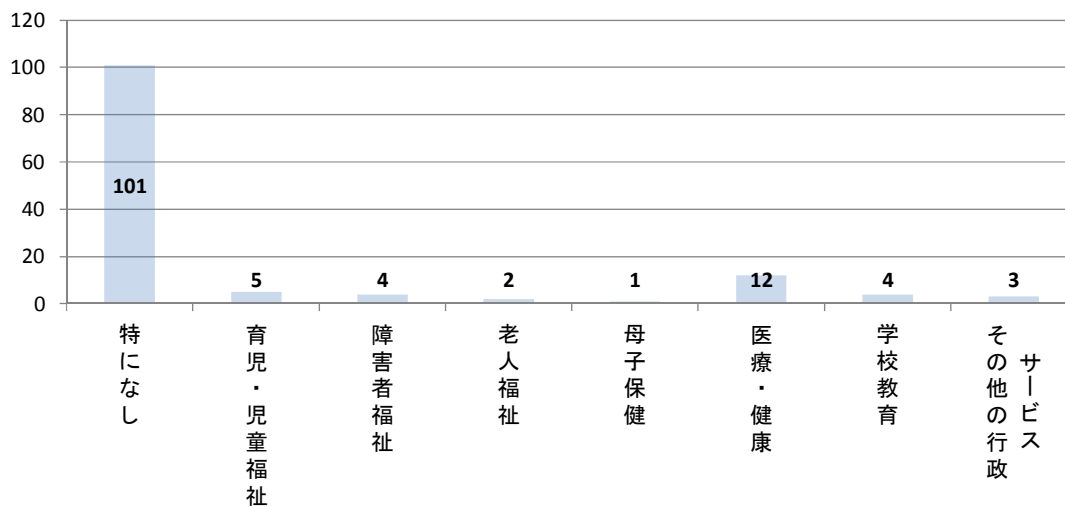
無回答:4名

【12】 Q6で「いる」と答えた方にお聞きします。不調を訴える方はどなたですか。(Q6-1)

		回答世帯	割合
①	子ども	1	1.9%
②	子どもと大人	14	26.9%
③	大人	37	71.2%
合計		52	

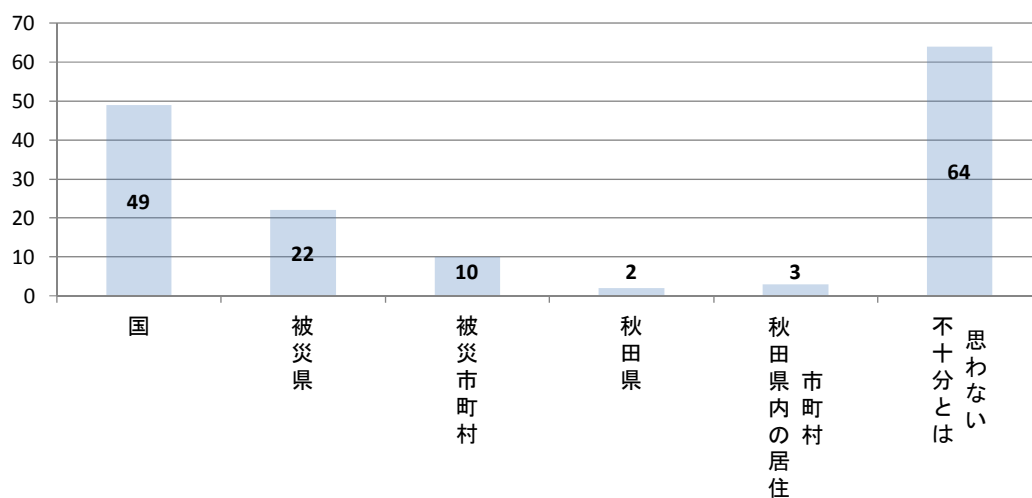
主な症状			
○不眠	11件	○集中力低下	2件
○頭痛	5件	○めまい	2件

【13】現在居住している市町村から提供される行政サービスで、不便を感じる分野について、お答え願います。(Q7:複数回答可)



				内 訳		
		回答世帯	割合	岩手県	宮城県	福島県
①	特になし	101	75.4%	6	17	78
②	育児・児童福祉	5	3.7%	0	1	4
③	障害者福祉	4	3.0%	0	2	2
④	老人福祉	2	1.5%	0	1	1
⑤	母子保健	1	0.7%	0	0	1
⑥	医療・健康	12	9.0%	0	1	11
⑦	学校教育	4	3.0%	0	0	4
⑧	その他の行政サービス	3	2.2%	0	0	3
合計		132		6	22	104

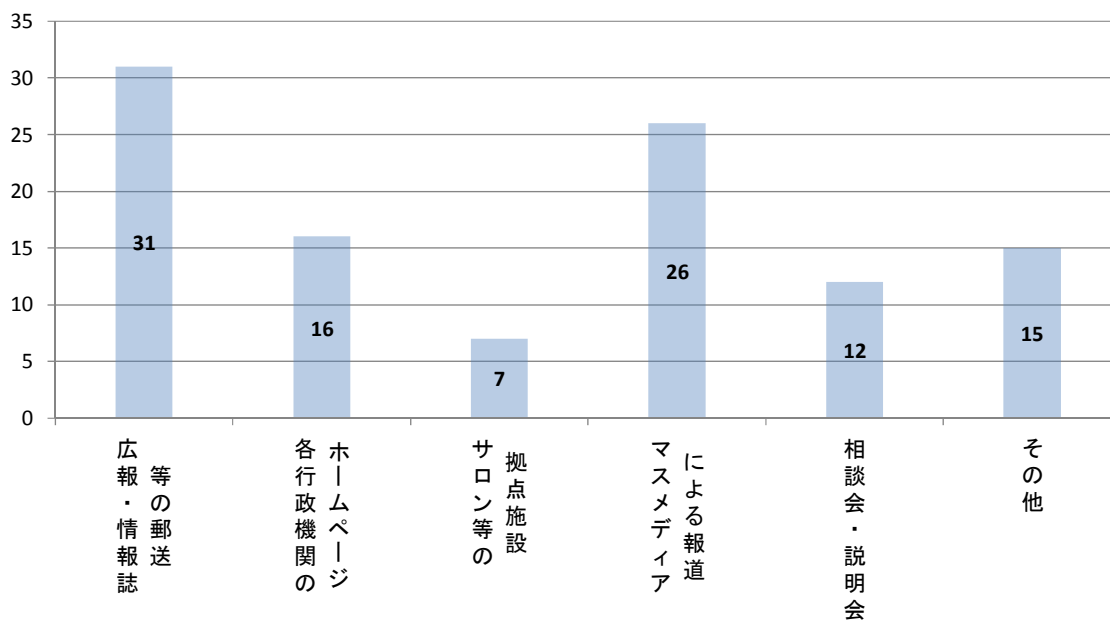
【14】支援制度など生活再建に必要な関係情報の提供が不十分と思う行政機関をお答え願います。(Q8:複数回答可)



				内 訳		
		回答世帯	割合	岩手県	宮城県	福島県
①	国	49	36.6%	0	3	46
②	被災県	22	16.4%	1	2	19
③	被災市町村	10	7.5%	1	0	9
④	秋田県	2	1.5%	0	0	2
⑤	秋田県内の居住市町村	3	2.2%	0	0	3
⑥	不十分とは思わない	64	47.8%	4	18	42
合計		150		6	23	121

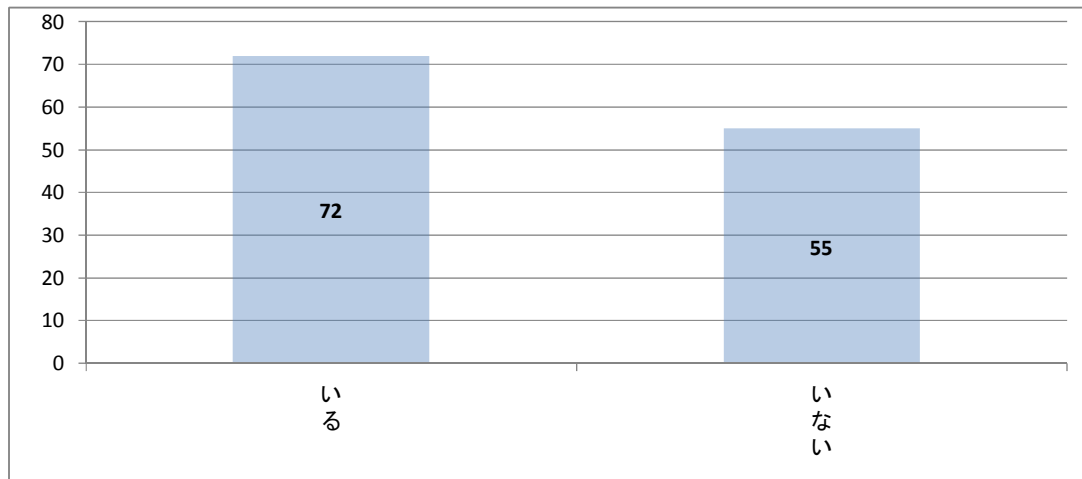
				内 訳	
		回答世帯	割合	子育て世帯	成人世帯
①	国	49	36.6%	32	17
②	被災県	22	16.4%	14	8
③	被災市町村	10	7.5%	6	4
④	秋田県	2	1.5%	1	1
⑤	秋田県内の居住市町村	3	2.2%	2	1
⑥	不十分とは思わない	64	47.8%	27	37
合計		150		82	68

【15】行政機関等からの情報提供の手段として、もっと充実してほしいものをお答え願います。(Q9:複数回答可)



				内 訳		
		回答世帯	割合	岩手県	宮城県	福島県
①	広報・情報誌等の郵送	31	23.1%	1	5	25
②	各行政機関のホームページ	16	11.9%	3	1	12
③	サロン等の拠点施設	7	5.2%	0	2	5
④	マスメディアによる報道	26	19.4%	1	2	23
⑤	相談会・説明会	12	9.0%	0	1	11
⑥	その他	15	11.2%	1	2	12
合計		107		6	13	88

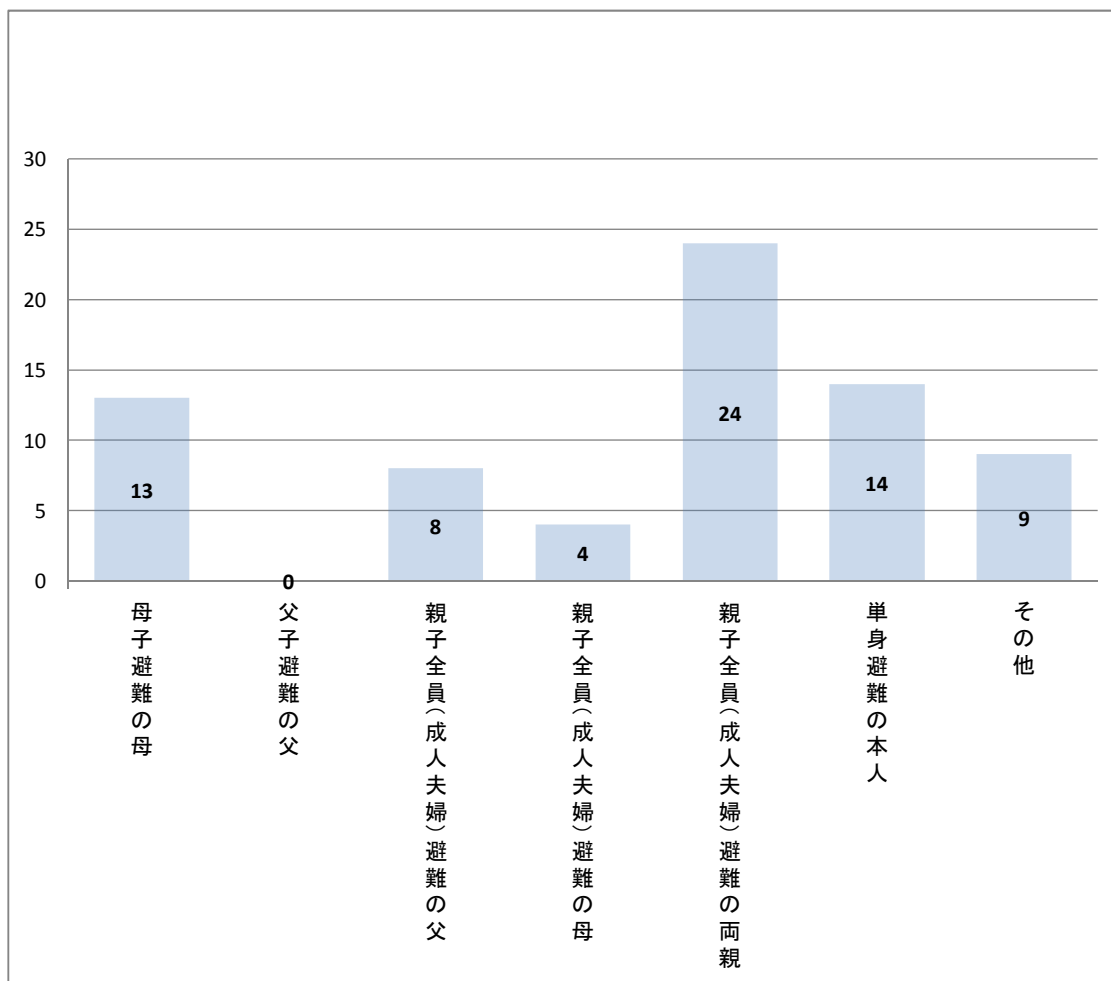
【16】避難しているご家族の就労状況をお答え願います。現在避難している方の中で秋田県内で就労している方はありますか。(Q10)



				内 訳		
		回答世帯	割合	岩手県	宮城県	福島県
①	いる	72	53.7%	3	13	56
②	いない	55	41.0%	2	10	43
合計		127		5	23	99

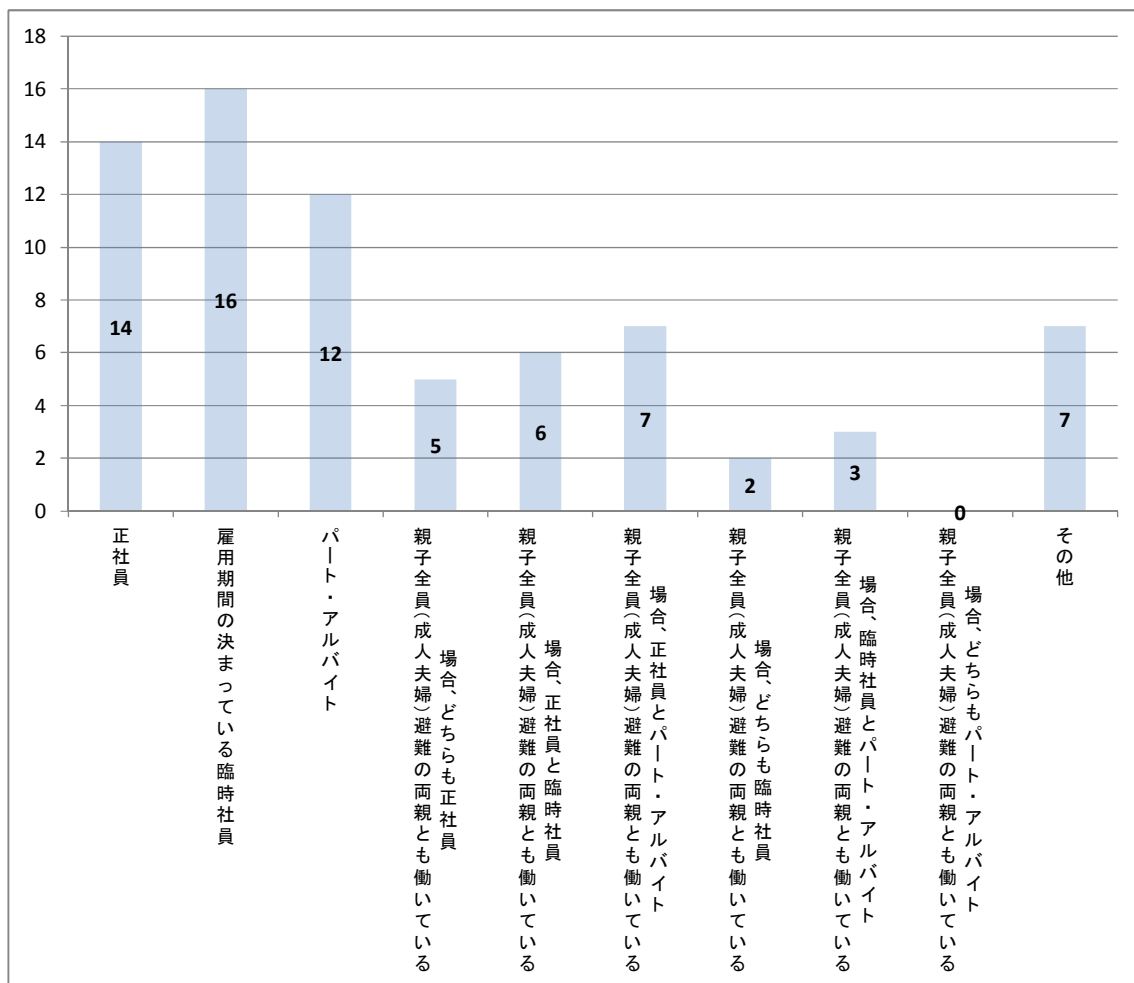
無回答:7名

【17】 Q10で「いる」と答えた方にお聞きます。働いている方はどなたですか。
(Q10-1)



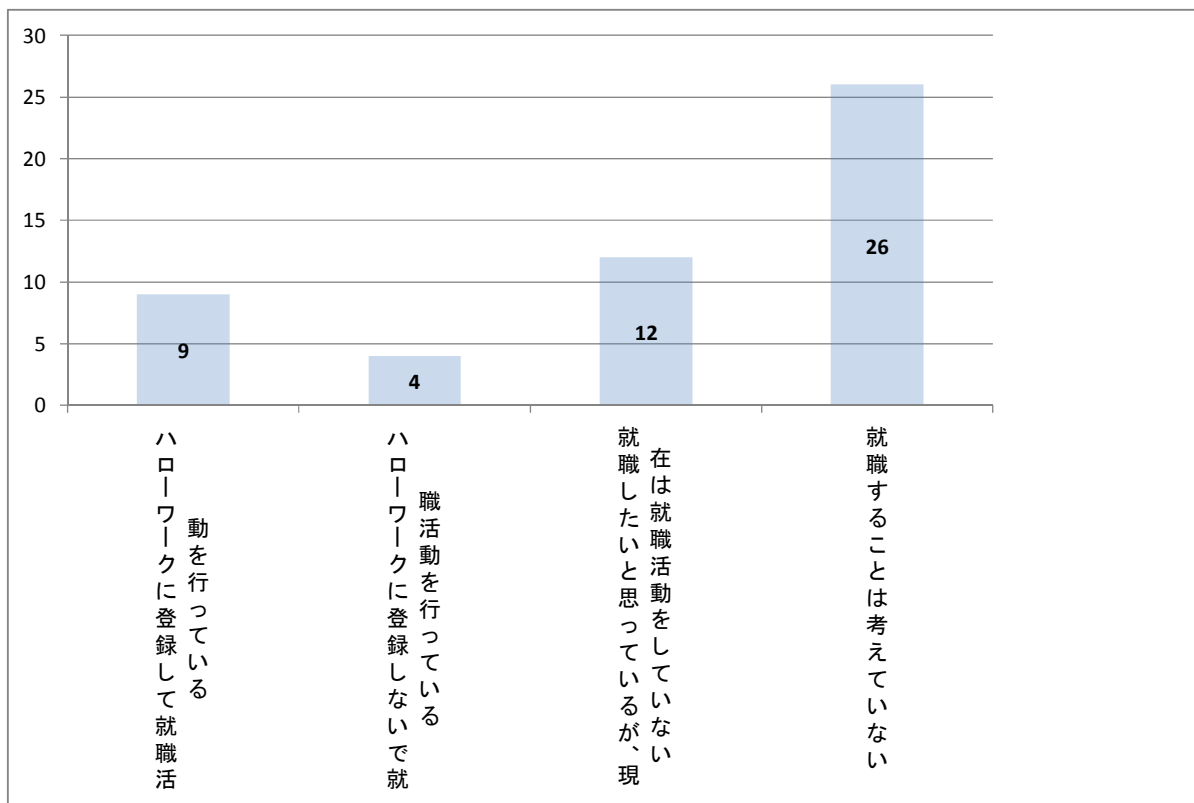
				内 訳		
		回答世帯	割合	岩手県	宮城県	福島県
①	母子避難の母	13	18.1%	0	0	13
②	父子避難の父	0	0.0%	0	0	0
③	親子全員(成人夫婦)避難の父	8	11.1%	1	0	7
④	親子全員(成人夫婦)避難の母	4	5.6%	0	0	4
⑤	親子全員(成人夫婦)避難の両親	24	33.3%	0	4	20
⑥	単身避難の本人	14	19.4%	2	6	6
⑦	その他	9	12.5%	0	3	6
合計		72		3	13	56

【18】「Q10」で「いる」と答えた方にお聞きします。働いている方の就労形態をお答え願います。(Q10-2)



			内 訳			
		回答世帯	割合	岩手県	宮城県	福島県
①	正社員	14	19.4%	1	2	11
②	雇用期間の決まっている臨時社員	16	22.2%	1	3	12
③	パート・アルバイト	12	16.7%	1	3	8
④	親子全員（成人夫婦）避難の両親とも働いている場合、どちらも正社員	5	6.9%	0	1	4
⑤	親子全員（成人夫婦）避難の両親とも働いている場合、正社員と臨時社員	6	8.3%	0	0	6
⑥	親子全員（成人夫婦）避難の両親とも働いている場合、正社員とパート・アルバイト	7	9.7%	0	1	6
⑦	親子全員（成人夫婦）避難の両親とも働いている場合、どちらも臨時社員	2	2.8%	0	0	2
⑧	親子全員（成人夫婦）避難の両親とも働いている場合、臨時社員とパート・アルバイト	3	4.2%	0	1	2
⑨	親子全員（成人夫婦）避難の両親とも働いている場合、どちらもパート・アルバイト	0	0.0%	0	0	0
⑩	その他	7	9.7%	0	2	5
	合計	72		3	13	56

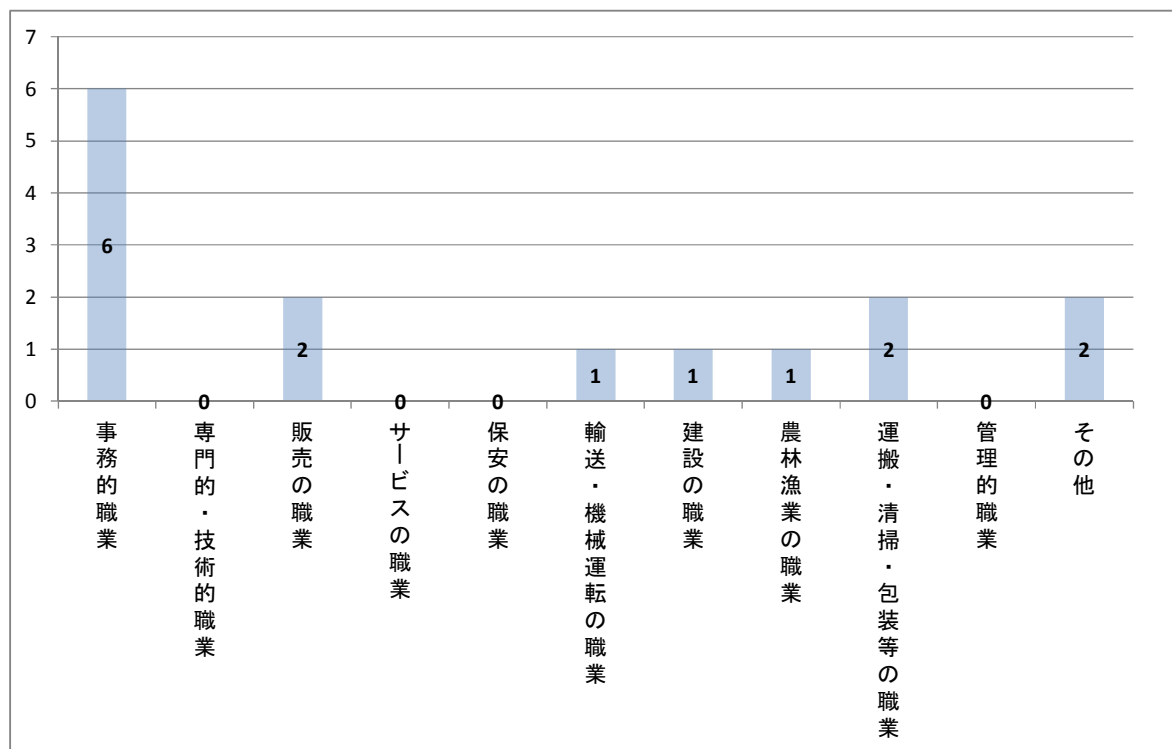
【19】Q10で「いない」と答えた方にお聞きます。現在、就職をするためにハローワークへ登録など就職活動を行っていますか。(Q10-3)



			内 訳			
		件数	割合	岩手県	宮城県	福島県
①	ハローワークに登録して就職活動を行っている	9	16.4%	0	1	8
②	ハローワークに登録しないで就職活動を行っている	4	7.3%	0	1	3
③	就職したいと思っているが、現在は就職活動をしていない	12	21.8%	0	2	10
④	就職することは考えていない	26	47.3%	2	5	19
	合計	51		2	9	40

無回答:4名

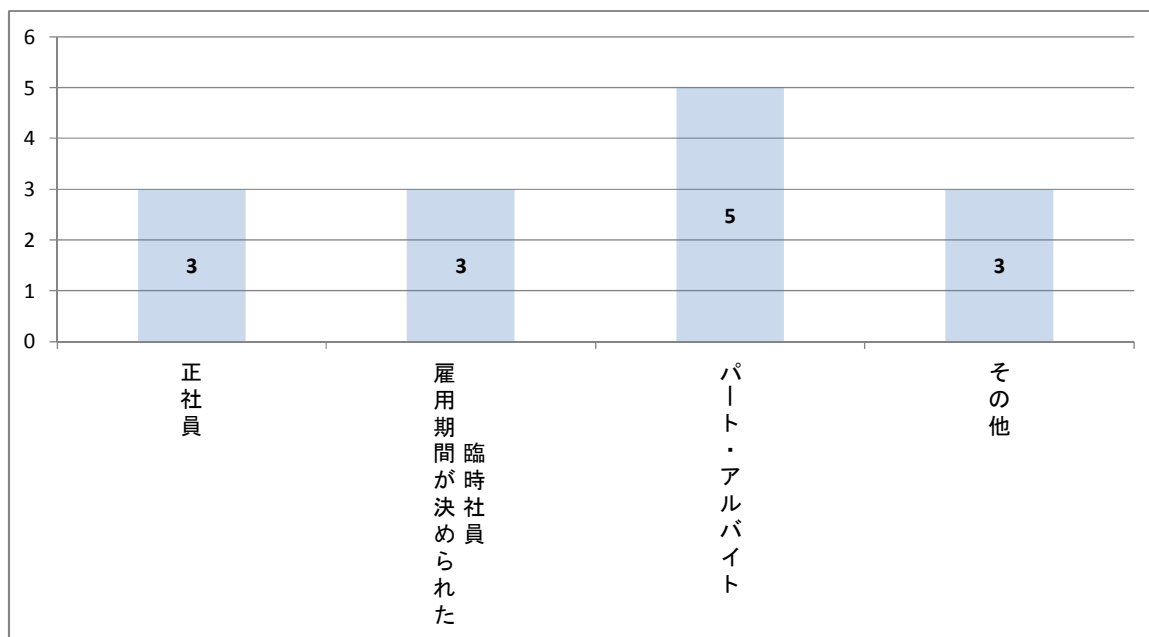
【20】Q10-3で、①又は②の「就職活動を行っている」と答えた方にお聞きます。どのような職種を希望していますか。(Q10-4)



		回答世帯	割合	内 訳		
				岩手県	宮城県	福島県
①	事務的職業	6	46.2%	0	0	6
②	専門的・技術的職業	0	0.0%	0	0	0
③	販売の職業	2	15.4%	0	1	1
④	サービスの職業	0	0.0%	0	0	0
⑤	保安の職業	0	0.0%	0	0	0
⑥	輸送・機械運転の職業	1	7.7%	0	0	1
⑦	建設の職業	1	7.7%	0	0	1
⑧	農林漁業の職業	1	7.7%	0	0	1
⑨	運搬・清掃・包装等の職業	2	15.4%	0	0	2
⑩	管理的職業	0	0.0%	0	0	0
⑪	その他	2	15.4%	0	1	1
合計		15		0	2	13

※複数の職種を希望している方もいるため、Q10-3の合計数と一致せず。

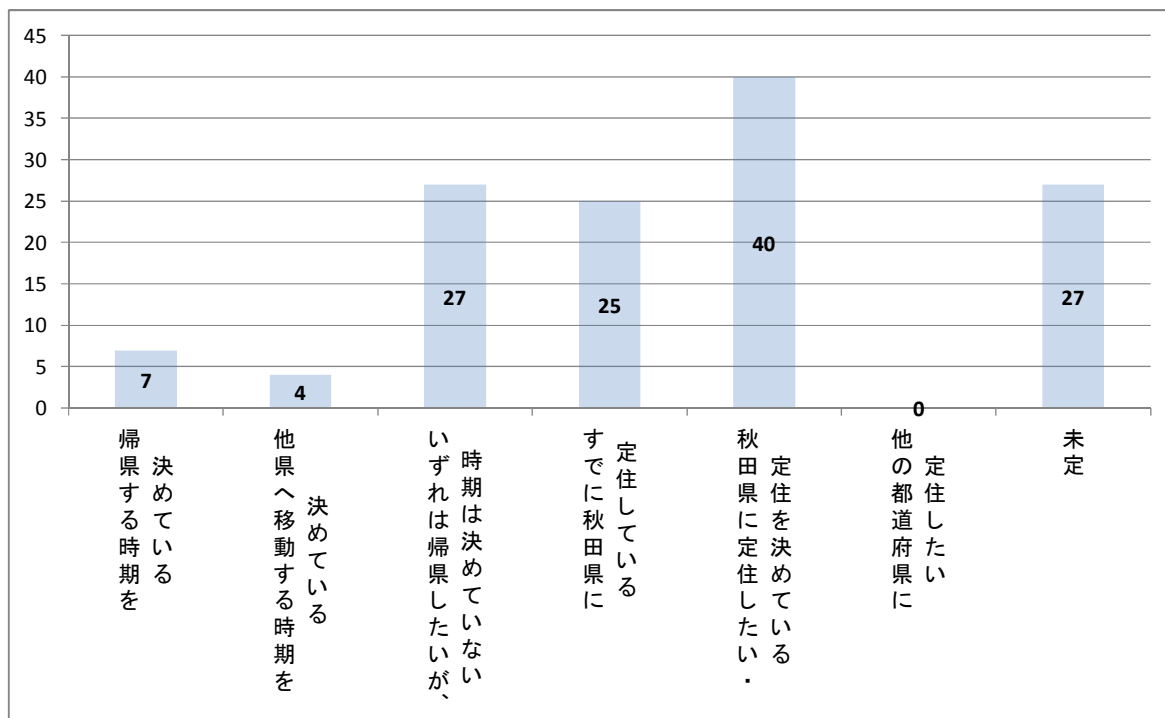
【21】Q10-3で、①又は②の「就職活動を行っている」と答えた方にお聞きします。どのような雇用形態を希望していますか。(Q10-5)



				内 訳		
		回答世帯	割合	岩手県	宮城県	福島県
①	正社員	3	23.1%	0	0	3
②	雇用期間が決められた臨時社員	3	23.1%	0	1	2
③	パート・アルバイト	5	38.5%	0	0	5
④	その他	3	23.1%	0	1	2
合計		14		0	2	12

※複数の雇用形態を希望している方もいるため、Q10-3の合計数と一致せず。

【22】今後の予定について、お答え願います。(Q13)

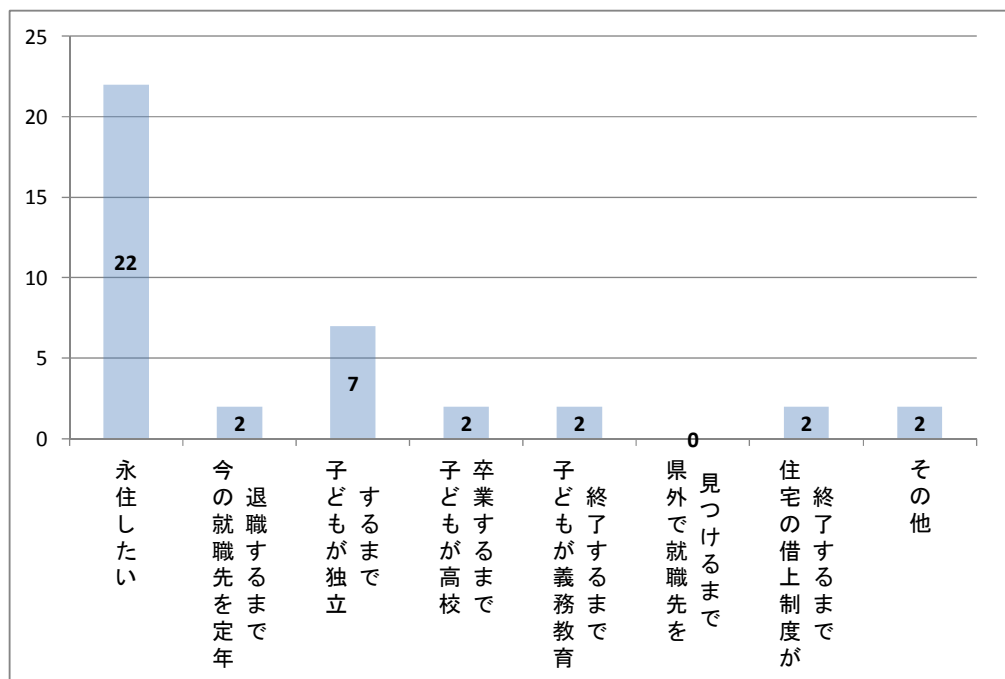


				内 訳		
		回答世帯	割合	岩手県	宮城県	福島県
①	帰県する時期を決めている	7	5.2%	1	2	4
②	他県へ移動する時期を決めている	4	3.0%	0	0	4
③	いずれは帰県したいが、時期は決めていない	27	20.1%	0	1	26
④	すでに秋田県に定住している	25	18.7%	2	6	17
⑤	秋田県に定住したい・定住を決めている	40	29.9%	0	8	32
⑥	他の都道府県に定住したい	0	0.0%	0	0	0
⑦	未定	27	20.1%	3	6	18
	合計	130		6	23	101

無回答:4名

				内 訳	
		回答世帯	割合	子育て世帯	成人世帯
①	帰県する時期を決めている	7	5.2%	5	2
②	他県へ移動する時期を決めている	4	3.0%	2	2
③	いずれは帰県したいが、時期は決めていない	27	20.1%	15	12
④	すでに秋田県に定住している	25	18.7%	14	11
⑤	秋田県に定住したい・定住を決めている	40	29.9%	19	21
⑥	他の都道府県に定住したい	0	0.0%	0	0
⑦	未定	27	20.1%	14	13
	合計	130		69	61

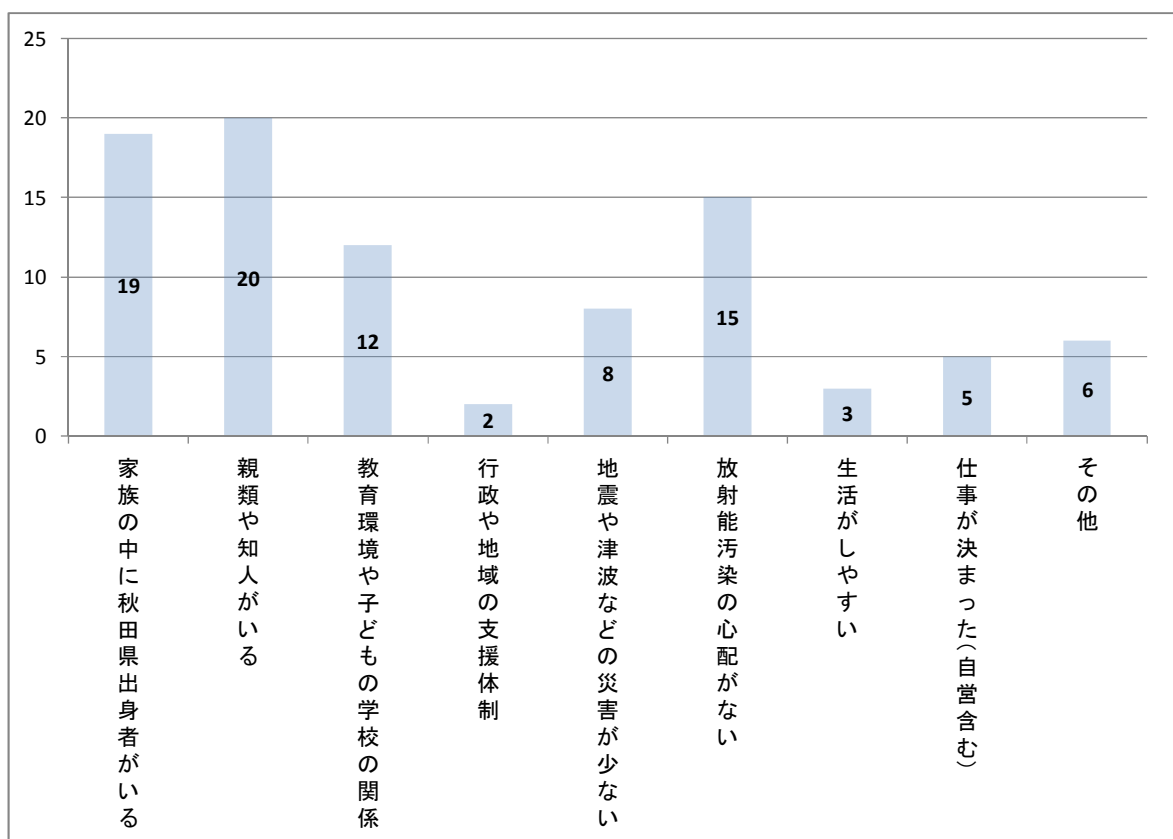
【23】「Q13」で「⑤秋田県に定住したい・定住を決めている」方に伺います。どの程度の期間を想定していますか。(Q13-1)



				内 訳		
		回答世帯	割合	岩手県	宮城県	福島県
①	永住したい	22	55.0%	0	6	16
②	今の就職先を定年退職するまで	2	5.0%	0	1	1
③	子どもが独立するまで	7	17.5%	0	1	6
④	子どもが高校卒業するまで	2	5.0%	0	0	2
⑤	子どもが義務教育終了するまで	2	5.0%	0	0	2
⑥	県外で就職先を見つけるまで	0	0.0%	0	0	0
⑦	住宅の借上制度が終了するまで	2	5.0%	0	0	2
⑧	その他	2	5.0%	0	0	2
合計		39		0	8	31

無回答: 1名

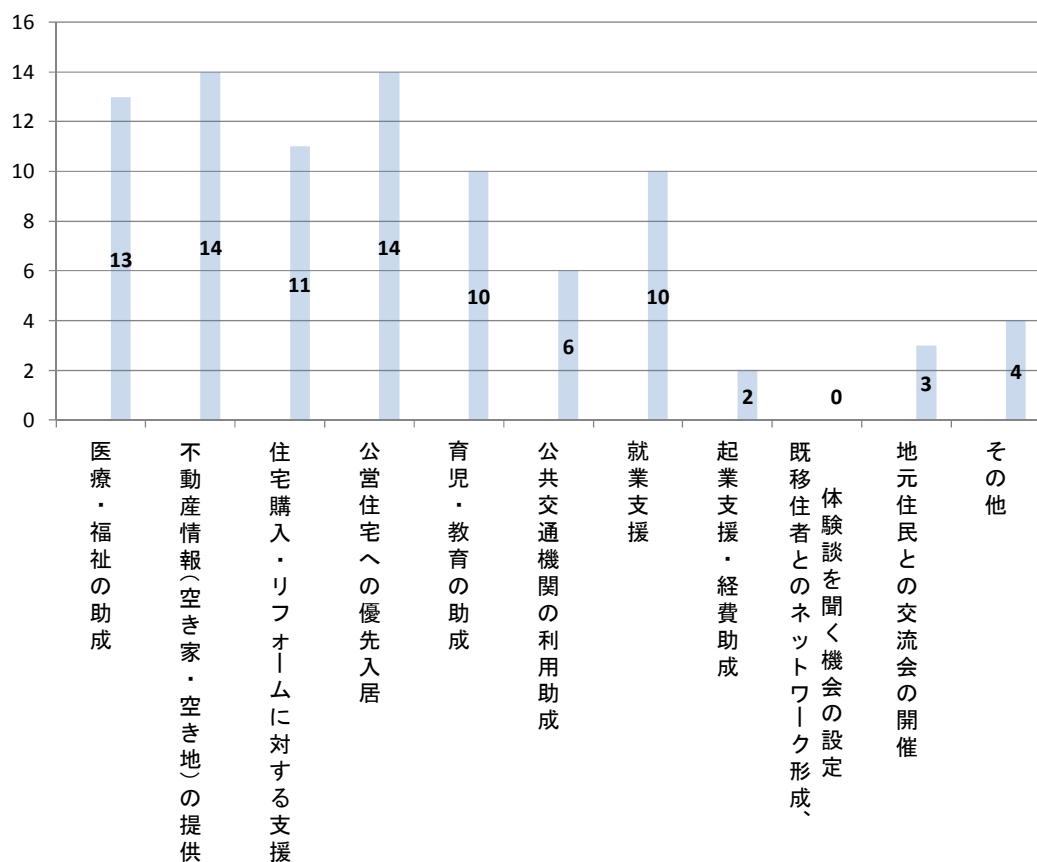
【24】「Q13」で「④すでに秋田県に定住している」「⑤秋田県に定住したい・定住を決めている」方に伺います。秋田県を定住先として決めた一番の理由をお答え願います。(Q13-2)



				内 訳		
		回答世帯	割合	岩手県	宮城県	福島県
①	家族の中に秋田県出身者がいる	19	29.2%	1	3	15
②	親類や知人がいる	20	30.8%	1	4	15
③	教育環境や子どもの学校の関係	12	18.5%	0	2	10
④	行政や地域の支援体制	2	3.1%	0	1	1
⑤	地震や津波などの災害が少ない	8	12.3%	0	2	6
⑥	放射能汚染の心配がない	15	23.1%	0	0	15
⑦	生活がしやすい	3	4.6%	0	0	3
⑧	仕事が決まった(自営含む)	5	7.7%	0	2	3
⑨	その他	6	9.2%	0	2	4
合計		90		2	16	72

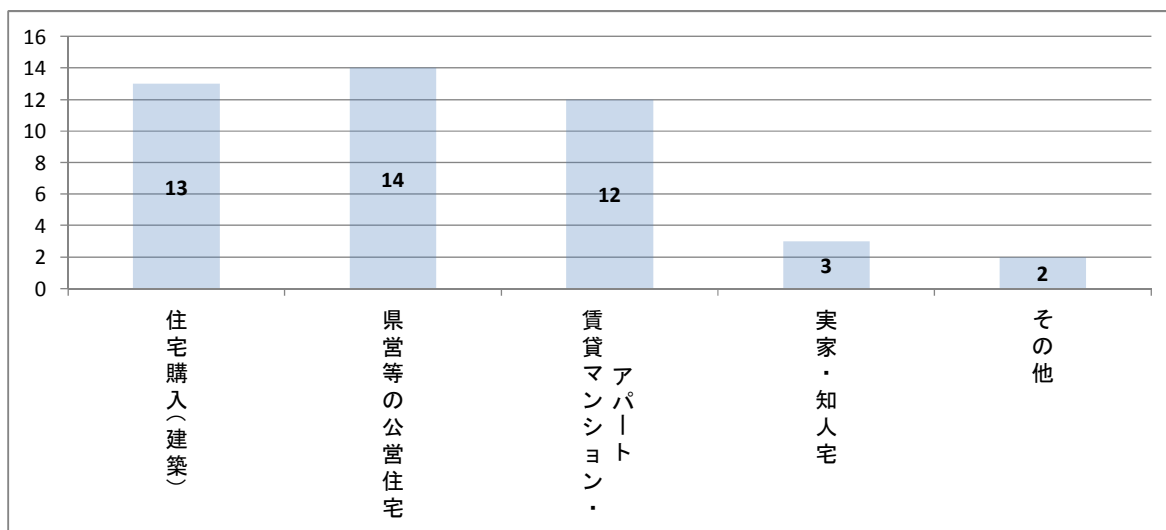
※複数の理由を回答した方もいるため、Q13の数と一致せず。

【25】「Q13」で「⑤秋田県に定住したい・定住を決めている」方に伺います。定住を考えるにあたり、どのような支援を望むかお答え願います。（Q13-3:複数回答可）



				内 訳		
		回答世帯	割合	岩手県	宮城県	福島県
①	医療・福祉の助成	13	32.5%	0	0	13
②	不動産情報（空き家・空き地）の提供	14	35.0%	0	2	12
③	住宅購入・リフォームに対する支援	11	27.5%	0	0	11
④	公営住宅への優先入居	14	35.0%	0	6	8
⑤	育児・教育の助成	10	25.0%	0	0	10
⑥	公共交通機関の利用助成	6	15.0%	0	0	6
⑦	就業支援	10	25.0%	0	0	10
⑧	起業支援・経費助成	2	5.0%	0	0	2
⑨	既移住者とのネットワーク形成、体験談を聞く機会の設定	0	0.0%	0	0	0
⑩	地元住民との交流会の開催	3	7.5%	0	0	3
⑪	その他	4	10.0%	0	2	2
合計		87		0	10	77

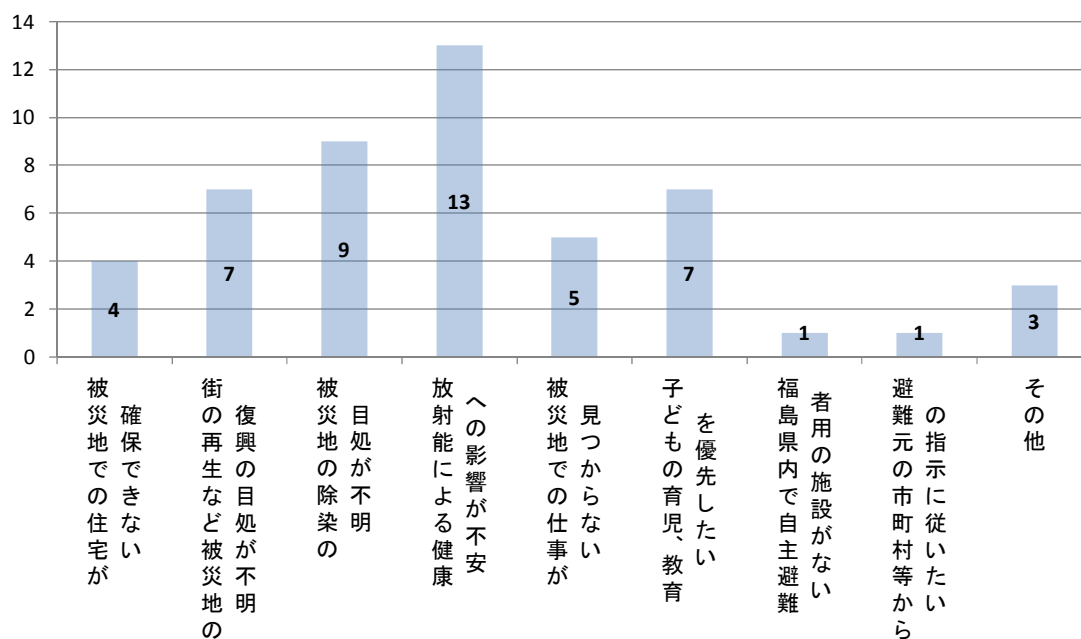
【26】「Q13」で「⑤秋田県に定住したい・定住を決めている」方に伺います。秋田県への定住を考えるにあたり、住居としてどこを考えていますか。(Q13-4)



				内 訳		
		回答世帯	割合	岩手県	宮城県	福島県
①	住宅購入(建築)	13	32.5%	0	1	12
②	県営等の公営住宅	14	35.0%	0	6	8
③	賃貸マンション・アパート	12	30.0%	0	1	11
④	実家・知人宅	3	7.5%	0	0	3
⑤	その他	2	5.0%	0	0	2
合計		44		0	8	36

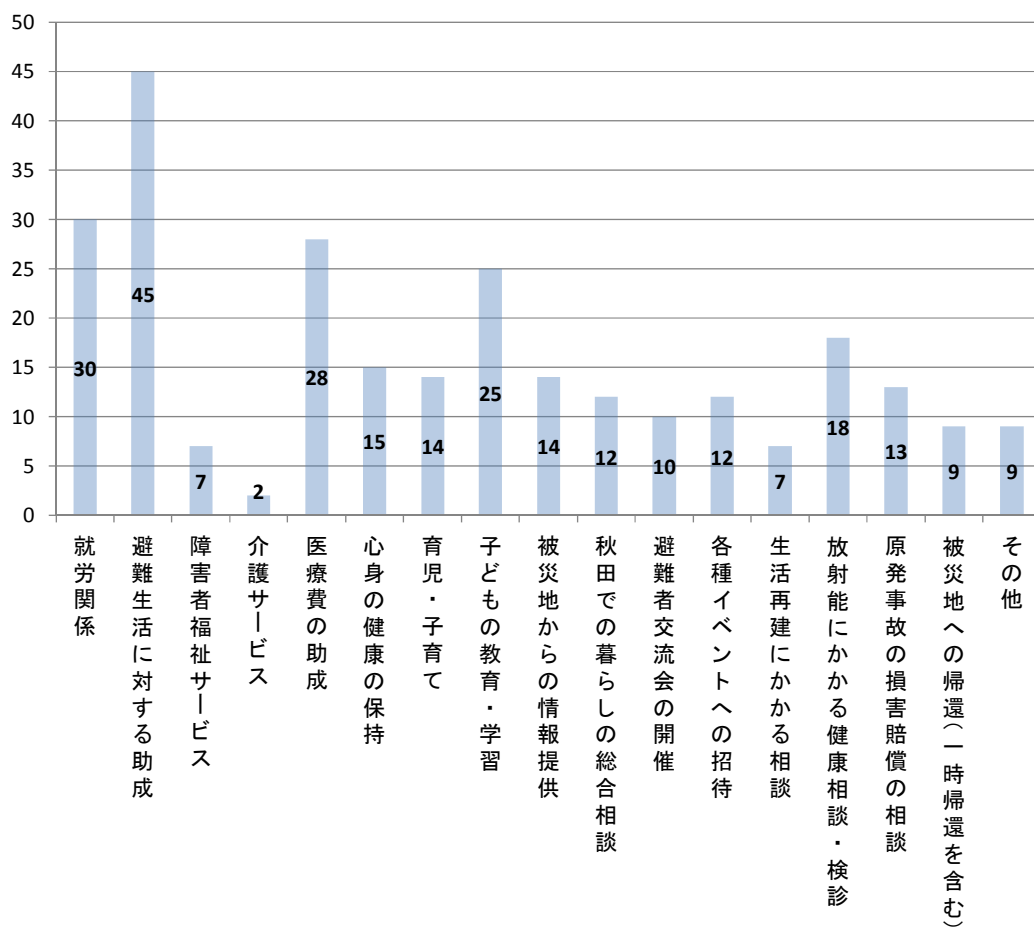
複数の希望を記入した方がいるため、Q13と一致せず。

【27】「Q13」で「③いずれは帰県したいが、時期を決めていない」方に伺います。
決められない主な理由をお答え願います。(Q14:複数回答可)



				内 訳		
				岩手県	宮城県	福島県
		回答世帯	割合			
①	被災地での住宅が確保できない	4	14.8%	0	0	4
②	街の再生など被災地の復興の目処が不明	7	25.9%	0	0	7
③	被災地の除染の目処が不明	9	33.3%	0	0	9
④	放射能による健康への影響が不安	13	48.1%	0	0	13
⑤	被災地での仕事が見つからない	5	18.5%	0	0	5
⑥	子どもの育児、教育を優先したい	7	25.9%	0	0	7
⑦	福島県内で自主避難者用の施設がない	1	3.7%	0	0	1
⑧	避難元の市町村等からの指示に従いたい	1	3.7%	0	0	1
⑨	その他	3	11.1%	0	1	2
合計		50		0	1	49

【28】今、必要としている支援について、下の事項から4つ以内で選択してください。(Q15)



				内 訳		
		回答世帯	割合	岩手県	宮城県	福島県
①	就労関係	30	22.4%	0	5	25
②	避難生活に対する助成	45	33.6%	2	5	38
③	障害者福祉サービス	7	5.2%	1	3	3
④	介護サービス	2	1.5%	0	0	2
⑤	医療費の助成	28	20.9%	2	4	22
⑥	心身の健康の保持	15	11.2%	2	3	10
⑦	育児・子育て	14	10.4%	0	1	13
⑧	子どもの教育・学習	25	18.7%	0	2	23
⑨	被災地からの情報提供	14	10.4%	2	1	11
⑩	秋田での暮らしの総合相談	12	9.0%	1	3	8
⑪	避難者交流会の開催	10	7.5%	0	1	9
⑫	各種イベントへの招待	12	9.0%	0	4	8
⑬	生活再建にかかる相談	7	5.2%	1	1	5
⑭	放射能にかかる健康相談・検診	18	13.4%	0	0	18
⑮	原発事故の損害賠償の相談	13	9.7%	0	0	13
⑯	被災地への帰還（一時帰還を含む）	9	6.7%	1	0	8
⑰	その他	9	6.7%	0	2	7
合計		270		12	35	223

				内 訳	
		回答世帯	割合	子育て世帯	成人世帯
①	就労関係	30	22.4%	19	11
②	避難生活に対する助成	45	33.6%	25	20
③	障害者福祉サービス	7	5.2%	2	5
④	介護サービス	2	1.5%	0	2
⑤	医療費の助成	28	20.9%	17	11
⑥	心身の健康の保持	15	11.2%	7	8
⑦	育児・子育て	14	10.4%	14	0
⑧	子どもの教育・学習	25	18.7%	25	0
⑨	被災地からの情報提供	14	10.4%	6	8
⑩	秋田での暮らしの総合相談	12	9.0%	4	8
⑪	避難者交流会の開催	10	7.5%	5	5
⑫	各種イベントへの招待	12	9.0%	7	5
⑬	生活再建にかかる相談	7	5.2%	2	5
⑭	放射能にかかる健康相談・検診	18	13.4%	15	3
⑮	原発事故の損害賠償の相談	13	9.7%	9	4
⑯	被災地への帰還（一時帰還を含む）	9	6.7%	3	6
⑰	その他	9	6.7%	4	5
合計		270		164	106

Ⅲ 自由記述：主なもの

【１】避難先自治体に対する要望

被災県	Q16 避難先自治体に対する要望
岩手県	・ スマイル通信や保健相談など被災者受入支援室には大変感謝しています。 ・ 今の生活も県や市の支援があるからこそこまで来れたと思っています。本当にありがとうございます。これからよろしく願います。 ・ 先月の「六魂祭」とか「竿燈祭り」等々元気をもらええるイベントに招待して頂きありがとうございます。秋田市に来て4年1ヶ月が経ちましたが、もう仙台に戻ることもないし秋田での生活も落ち着いていますので、これからの支援は必要ないです。生活も大丈夫です。長い間、本当にありがとうございます。まだまだ支援を必要としている方々をよろしく願います。 ・ いつもさざまサポートして頂いています。 ・ 震災直後は母子避難でしたが、2年前には父親も転勤で共に暮らしています。おかげさまで子供も不安定感は薄れてきました。以前は地震速報でおびえひどく怖がりましたが、少しずつ落ち着いています。秋田に来て良かったと心から思っています。 ・ 毎回いろいろな楽しいイベントの案内どうもありがとうございます。初めの頃は子どもが精神的な不安とかが強くてなかなか参加できなかったのですが、今下の子はイベントをとっても楽しみにしています。秋田に来る前の生活が楽しかったといまだにボソッと言われますが、その回数が減ってきたような感じがします。これからも秋田にずっといるって言ってくれるような楽しいイベントを待っています。 ・ 収入が1／3になった。ギリギリの生活です。せめて最低賃金を上げてくれ。 ・ 市町村営住宅にも優遇措置をして欲しい。今は秋田市、北秋田市、八峰町だけだべ。 ・ なんと言っても、一番問題なのは、雪、除雪、雪道に慣れていないので困っています。腱鞘炎になってなかなか治らないし仕事から帰ると、家に入れなかったりして…。雪道の運転が怖いし、車庫からの出し入れも除雪が大変で、慣れなくては…と焦ったりしています。 ・ 雪の多い時、女の私では大変でした。だんだんと年をとっていくのに不安を感じています。 ・ 車で坂を登る時、すべり止めがあれば良いと思います。 ・ 避難者に向けての情報交換会や、集まれる交流センターなどは今後も続いて欲しいと思います。同じ境遇の人達が集まれる場は必要です。 ・ いろいろして頂いてありがたいです。 ・ 転居しても住居の助成があると助かる。（子供が大きくなかったため、転居を考え中） ・ 由利本荘市からは就学費援助をしてもいいとても感謝しております。できましたら、母子避難者に医療費無料のなんらかの助けがあると助かります。 ・ 高速代も平成28年3月までは無料ですが、山形自動車道は有料です。
宮城県	
福島県	

被災県	Q 1 6 避難先自治体に対する要望
福島県	・秋田県、秋田市からの支援には感謝しておりますが、子どもの医療費の助成があればとても助かります。
	・一生懸命にやっても臨時のままではだんだんつまらなくななる。
	・手厚い支援に助けていただき心から感謝しております。良い環境の中、安心して生活させていただけたことととてもありがたきと感じております。今後の予定について、子どもが独立するまでは秋田県にいたいという思いを福島の家族と話しておりましたが、秋田県定住を念頭に置いて相談しております。夫にも両親にも話をする中で、当分の間福島と秋田との二重生活が続くため医療・福祉の助成等 Q 1 3 - 3 の回答した支援があれば心強く助かると望んでいます。よろしくお願ひします。
	・私自身は今のところ何もありません。潟上市も秋田県も色々ともらっているのも感謝のみです。
	・就学援助費の支給はとても助かります。これからよろしくお願い致します。
	・ 3. 1 1 から 4 年も月日が流れているにもかかわらず、いまだに支援していただいていることに感謝致します。定住したい理由の 1 つでもあります。
	・雪国なので除雪の件、アパートの前を市で除雪するのか？アパートの管理会社に TEL しているが、まったくこの問題が解決できていないのが今の現状です。
	・各種支援に感謝している。
	・原発賠償金について陰口を言われる。
	・原発で潤っていたのに被害者づらしてと言う方がいるので秋田に永住は難しい。
	・定年後は秋田に永住することになると思いますが、浪江町の家にも定期的に掃除や草刈に帰りたい。
	・今、働いて収入を得て生活していますが、雇用期間が限定されて先の見通しが立たない中今回の借上住宅の支援打ち切りという話を聞き、大変不安な毎日を過ごしています。他の避難されている方もきつと同じように不安だと思います。このような時期に、交流会などを開いていただき、心の交流を作っていたただけありがたいと思います。また、雇用の方でも、避難してきた人々向けの対象の求人の情報を、お知らせ頂けたらありがたいです。
	・大変お世話になっておりますので、要望等はございません。
	・支援いただき本当にありがとうございます。この場所ですともたちが伸び伸び成長していけるようにこのまま環境を変えたくありません。どうぞこれからもご支援よろしくお願い致します。
	・理解できないかもしれない。だけど悩んでしまった理由、どれだけ大きい出来事だったか、人生が変わってしまった苦しみ。これからの生活への不安。ひとつひとつが、小さな事でもストレスの原因になり、生活の安定が難しいこと。住民票が移せないことで、不便を抱えていること。度々福島へ行かなければ、行政は平日しかやっていないので、どうしても仕事を休んでしまうこと。
	・平成 2 9 年 3 月以降も県の方から借上住宅の何らかの支援を頂けるとありがたいです。

被災県	Q16 避難先自治体に対する要望
福島県	・お陰様で何とか秋田でやっていけそうです。困ったら支援室の方に相談しようと思いと安心なのです。借上住宅に3年10ヶ月お世話になりました。ありがとうございます。戸建てに越しましたが知り合いはいなくて寂しいです。支援員の方の訪問を続けてほしいと思っています。
	・南相馬市では医療費がただでした。秋田市が高く感じました。
	・昨年開かれた秋田の市議会、県議会へ陳情や請願をしました。中身は、原発子ども被災者支援法が全く機能しておらず、自主避難者を始めこれから帰還させられる地域の人でも、まだ帰れない、帰りたい人達への支援が何もないので、国に意見書を出して欲しいという要望でした。仕事の休みの土日等又は仕事を休んで各会派を全て回って歩き、県議会議員さん達や市議会議員さん達に頭を下げて歩きました。議員さん達は本当に理解してくれ、原発事故や放射能への認識を改めて考えさせられる日々でした。県議会本会議当日、仕事を休んで傍聴にいきました。
	・たくさんのご支援ありがとうございます。ここまですべて避難者に寄り添った支援をしている県は他にないと思います。秋田を避難先に決めて本当に良かったです。
	・折々に親切に対応して頂き大変感謝致しております。病人がおりますので、今のところ重点は介護につきまと思っています。介護サービスなどきめ細かく対応して頂いているので、安心しております。秋田に来てから多くの人に親切にして頂きました。本当にありがたいことと存じます。ありがとうございます。
	・就学援助制度を続けて欲しい。
	・本人が生きてる間、借上制度の適用及び引越条件の追加。（高齢、病気に伴う引越については借上制度の対象とする。）
	・秋田県にはたくさんの支援をして頂いており、ここに来て本当に良かったと感謝しております。
	・あたたかいお声をかけて頂き大変お世話になり感謝しております。これから、秋田県の良さを皆にアピールしていきたいと思っています。
	・いつもお世話になっています。現在子どもが年長で来年小学校に入学します。できれば現在住んでいる学区でと考えていますが、妹が秋田市内に家を購入し私たちにも近くにも越してこないかと声をかけてくれ、とても悩んでいます。借上住宅が延長され、ますます悩んでいます。来年、生活をガラッと変えなければならぬのに決められないことにとっても悩んでいる状態です。
	・4年も過ぎていまだに秋田県にお世話になり何も出来ずに支援ばかりに頼っているようで、申し訳なく感じています。ありがとうございます。
	・大変親切にしてくださるありがとうございます。各種の情報紙やイベント参加依頼には感謝しています。
	・7月末に福島に戻ります。色々とお世話になりました。
	・秋田県、秋田市の方々には本当に感謝しています。

【 2 】 国に対する要望

被災県	Q17 国に対する要望
岩手県	・避難生活の長期化に伴い生活費（消費税アップ）の高騰により厳しい日常生活となっています。年金支給額の減額等諸般の事情を考慮の上、可能な範囲で被災者生活支援金の助成をお願いしたい。 ・仙台以外の市町村が早く元に戻るよう願います。
宮城県	・住宅建築の助成期間をもう少し延ばしてください。あと2年半では決めることができません。 ・保障
福島県	・高速道路の料金無料措置を延長して下さい。
	・震災によって生活をゼロから始めたので、いまだに生活が安定しない。子供のことも含め、将来的な不安は大きい。4年経過しても、当時のことはしっかりと記憶にとどめていて欲しい。
	・福島県の健康診断を毎年受診するよう連絡は来ますが、申し込みしても病院の都合で受診できないという事が昨年ありました。受診のできる病院が少ないというのは問題だと思います。小さな子供も病院の都合で受診できずにいるのは将来のある人の生活を守れないのと同じではないのでしょうか。年が経つにつれ、きめ細かな配慮がなくなってきたと感じられ残念です。
	・山形自動車道の無料化と、これからも高速道路の無料化措置をお願いしたいです。ガソリン代もかかるし大変です。
	・自主避難者への賠償を検討して欲しい。
	・現状の借上住宅は来年3月の期限が1年間延長されたが、あと3年程度は追加が必要と思う。
	・廃炉にもなっていないし、線量も高いのに帰れと言うのは無理がある。5年以上経ったら全損と言っていたのはどうなったのか？本当に帰っても安全だと言う保障はどこにあるのか？
福島県	・臨時社員と正社員の差が大きいと思う。
	・日本国は最低です。他国を批判する前にもっとやるべき事があるはずですが。 ・原発事故は収束したと言われているが逆で放射能については酷さが広がる一方へ進んでいます。福島県民、又日本列島の救済を真剣に考えて下さい。 ・原発事故子ども被災者支援法はどこへ消されたのですか？秋田県も知っていてどうして黙るのか私には理解できません。
	・秋田県に自主避難してから大雪には難儀するものの精神面、生活面において子どもの成長、学習においてもとても良い環境で安心した心で過ごせるのはこの地域に來られたからこそではないかと感謝しております。こちらでの定住を考えていく中で、支援を考慮していただけたら助けるなら助けていただきたいと心から願っております。ご検討よろしくお願い致します。
	・借上制度をむやみに打ち切らないで下さい。再建するのには時間が必要です。自立できる家と、そうでない家の見極めをお願い致します。
	・借上住宅の一部でも支援を残して欲しい。（全額は無理だとしても）
	・高速道路の無料化、医療費の無料化を今後（H28年度以降）も引き続き継続して欲しい。

被災県	Q17 国に対する要望
福島県	・補償の件ですが、過去4年間に渡りいろいろな分野で補償は済んでいます。我が家の古里浪江には帰れないし、会社も閉じました。この程度で補償を終わらせても、今になって段々と考えるようになりました。
	・いい加減にして欲しい。「情報」を操作するのは。 ・本当に私達の古里が安全なら、霞ヶ関にいる公務員全て永住してくれ！！
	・大地震の被災地と避難者に対する支援を収束の方向に導いてるとしか考えられない。復興は未だ道半ばでこれからが本番ではないでしょうか。支援の継続を願う。
	・人手が足りないの、世話になっている秋田の人に日当を支払って福島の家を掃除なり解体なりしてくだされば嬉しいですね。
	・働いていても、生活費を捻出するので精一杯です。借上住宅打ち切り決定後は、どうか家賃補助をお願い申し上げます。
	・国の動きが分からない。 ・支援されているお金は何に使ってどこに消えてるのか。 ・一番しないといけないことをやっていない。 ・何も変わらない。
	・何も期待していません。あきれてるし、あきらめています。私たちは、日本国民ですか。お荷物扱いされていることが不満です。
	・東電のいまだ収まらない状況に対する賠償。
	・借上民間賃貸住宅にいますが、1年間借り上げが延長されましたがそれ以降は家賃が発生します。年金だけでは大変で厳しいです。
	・大熊町の自宅は除染しないで壊して下さい。2度手間になります。アンケートの度に訴えています。声が届きません。廃炉に30年かかるのに、そこに戻って住めません。ふる里に戻る前に寿命が尽きると考え、無駄に暮らすのはやめました。期待して待つのに疲れたのです。原発難民をこれ以上増やさないよう再生可能エネルギーに舵を切ってください。届かないでしょうが書きました。
	・国はあてにしません。
	・3. 11から4年経って、原発は？爆発したの？という社会になりました。放射能？何それ？何それ？という社会になりました。オリンピックだ！戦争だ！わーい！という社会になりました。バカなの？と聞きたいです。
	・高速道路の料金無料化の措置を続けて欲しい。
	・自主避難者への支援を打ち切らないで欲しい。

被災県	Q17 国に対する要望
	- インターネット上の放射能に関する情報と国の情報が違う。国レベルでは何事もなかったようにしていただければ世界中から孤立するかもしれないことも分かっているのか、いつ戻れるか戻ろうと考えるのか今は分からない。戻れると判断できる情報が欲しいと思っている。 - 借上住宅の1年づつの更新では不安。 - 南相馬市の仕事求人が多いのに働く人がいない。民間アパートの空きがない。この状況で戻って来て下さいとアピールするのはおかしい。 - 一年延長になりましたことをありがたく感謝申し上げます。先々が見えぬまま一年一年と延長されてきましたが、これ以上は無理なのでしょうから。 - 復興も進んでないのに避難指示を解除するのはおかしい。家の周りはまだ線量も高く除染は終わっていない。 - 子どもも大人も健康調査を行い、保障して欲しい。 - 双葉郡内全てを平等に扱って欲しい。 - 国は福島県のことをどのように考えているのか。復興（放射能）をしていくのか。
福島県	- 最近、国に対する信用というものは何なのかと。4年も年月が過ぎると「当たり前」というか「これが普通の生活」という感じになってきてしまうのか。国民の本音に耳を傾けて欲しい。 - 妻がいわき市に戻ってるため、年に数回いわき市に帰省している。高速道路の料金を無料にしてもらいたい。 - 早く各個人の希望に添えるよう、帰還できるよう配慮をお願いしたい。 - 両親子避難世帯でも高速道路の無料措置をしてもらえると実家への帰省がしやすい。（回数制限があってもいい） - 南相馬市に戻りますが、病院がやっっていない（小児科）、入院もできないため、今からとても不安です。 - 借上住宅の期間を延長して頂きたいです。 - 国は東日本大震災や原発事故を忘れてしまったのでしょうか。あるいは無かったことにするかのようには復興の遅れを認めず安全を強調しています。国の前進していると思っている方向と国民や被災者の思っている全然違います。テレビの中の一部の人たち、一部の政治家だけが実感できる経済、景気回復のために我慢している国民の気持ちを少しは感じて見てください。「国民」というのは、納税の義務を果たすための道具ではなく、一人一人の人間だということを忘れないで欲しいです。 - 自主避難での生活費のかかり増しも多いので、今後も支援の打ち切りをしないで継続して欲しいです。 - 原発事故のその後の状況について正しい情報の提供をして頂きたい。 - 被災地への帰還を重視するのではなく、ほかの選択肢もあってもいいのではないのでしょうか。

【 3 】 避難元自治体に対する要望

被災県	Q18 避難元の自治体に対する要望
宮城県	・公務に従事される方々のメンタル不調のニュースを目にします。懸命に取り組んでいただいていると応援しています。
	・地元で復興に頑張っている若者、子供達の為に、何とか助成をしてやって欲しい。又、殆どの人が精神的に病んでいると思うので、そのケアもお願いしたいと思います。震災後、大人もそうですが、小さな子供達もずっとガマンしての4年間だったと思います。優しくなった子もいますが、表には出さない精神的なものにも目を向けてあげて下さい。
	・世帯ごとに考え方や環境が異なります。個々のケースに合った支援をして欲しいと思います。
	・自主避難を打ち切るのを考え直して頂きたい。
	・避難先の市民サービス、助成金なども受けられるようにして欲しい。
福島県	・先ずは地元選出議員には、今以上に私達は脱原発から逃れるために秋田に来ました。県民の命をしっかりと守るべくと尽力してもらいたい。私達の見える聞こえる形を是非切望するばかりです。浪江町行政区長宛てには要望書は出してありますが返事は来ていません。とにかく帰還しか言ってますので...
	・災害当時の家を整理したいが、どこに相談すればいいのか教えて欲しい。
	・帰ろうにも借家だったので住む場所が無く自分の病気で対応出来る病院がない。
	・我々が目で感じる結果を知りたい。
	・補償の問題をもっと広い分野で国、そして各都道府県で。過去の古里で住んでいた仕事をしていたのに全て失った。その辺を考えて欲しい。
	・計画どおり復興事業を進めて欲しい。
	・浪江町は他の市町村に比べ頑張っていると思う。
	・避難元の実家に（福島市）除染の関係で業者の方が線量を計ったところ、4マイクロシーベルトもあったそうです。帰還を推奨するのであれば、もっと早急に除染対策を進めるべきだと思います。
	・できれば秋田は使用していない土地がたくさんあるのだから秋田で暮らしたいと思っている人のアパートなり作ったらいいと思う。秋田は子どもを育てるのにとても良い環境なのだから。秋田の閑散とした街並みを考えたらそれの一つの案だと思う。
	・避難を続けたい人たちのために支援を継続して欲しいです。
	・県外避難者に対する、理解ができていないと感じます。遠くにいるのは、理由があります。対応が大雑把になりました。福島県内や二本松にいる人だけが町民ではありません。少数派の町民です。
	・全国に散ってしまった県民に情報を届け書類を作り、大変なご苦労と思います。ありがたいございます。除染が済んだら戻れと言われても、4年3ヶ月も経った、戻らない決心をした人も多いと思います。どうか苦しい選択をした町民の事も忘れず生活再建の助けをお願いします。

被災県	Q18 避難元の自治体に対する要望
福島県	・子供の健康管理の為、健診に関する案内はしっかり頂きたい。福島県を離れている為、情報量はとも少なく感じています。
	・内堀、いらね。脱被爆に尽力を尽くせ福島県！避難と保障あるのみ。甲状腺癌の子供があんなに出ているのに何をやっているんだ！という感じです。
	・住民票を移した子どもに対して、甲状腺ガンだけでなくその他の病気でも医療費を助成して欲しいです。原発事故の影響で発症する病気は甲状腺ガンだけではないと思うので。
	・避難先の市からの情報は何もない。福島にいる友人などから医療の事を聞いて問い合わせると全然分かっていなかった。
	・秋田県の人の方が親切で色々情報を提供して頂いてるので助かってます。
	・子どもも大人も健康調査を行い、保障して欲しい。
	・何も期待していないのでありません。
	・JRより東側の土地に屋内プール（温水）施設を作り、寝たきりや子ども運動不足を少なくするよう低料金で年金受給者でも通えるそうだった楽しめる場所の建設を検討して頂きたい。
	・街の治安が悪くなった感じがする。 ・交通事故が多い。
	・借り上げ終了時、避難先へ住む人にも支援があれば助かります。
	・小児科は夜医師がいなくて入院もできない事を聞いて今からとても不安です。心臓の医師も以前のように市立病院に来てもらえると嬉しいのですが。
	・原発事故は実際に起き、それによる汚染は今も続いているのです。福島県外の人から見れば、福島はもはや「帰れる訳がない、あんな場所」です。それは、基準値を変えただけの安全が嘘であることが簡単に誰にでも見抜けてしまうからです。福島に残っている方たち（行政を含む）との間に考えの隔たりがあるのはお互い承知のことだと思えます。でも、今回のような自主避難者への扱いがまた福島への評価を下げ「帰らなくてもいいよあんな県」に必ずつながるということを少し考えて頂きたいです。

【４】避難者支援に関する意見

被災県	Q19 避難者支援に関する意見
宮城県	・被災者受入支援室の方々には大変お世話になっており、今後もよろしくお願ひしたいと思います。
	・前にも述べましたが十分にサポートしていただき感謝しています。
	・お世話になっております。今後もよろしくお願ひします。
	・秋田びじょん要らない。内容が秋田市のイベントばかりだから鹿角から参加しに行けない。秋田市の人だけ参加していると思うと差別を感じるから、知らない方がいい。
	・この4年間、秋田県の皆様には本当に沢山の愛の支援を頂き、何とかおかげ様で元気に暮らしています。県知事さん始め、大仙市長さん、美郷町長さん、そして何よりも個々人の心の優しさに助けられての日々を送っています。これからは私自身も何か役に立てたら幸いと思っています。私達避難者にも何かお役目が有れば…お願ひします。
福島県	・自主避難者に対する借上住宅の期間をあと2年とせず、延長してもらいたい。
	・返答が遅くなり申し分ありません。子供など学校を通して、地域、学校の方々に支えてもらっております。ありがとうございます。
	・医療費無料、山形自動車道の無料化、就学費援助。
	・福島に行く時の交通費がバカになりません。（車で行っても約20000円になります。）420km補助してもらいたいです。
	・今の内閣はオリンピック第一で国策を進めています。様々な人々が被災県へ出向き食べて応援等にしてますが、危険きわまりないと、別の方法があるはずなのに… ・放射能に関しても新事実を秘密保護法により又、隠蔽状態ばかりで若い世代の人達がかかわいそうです…
	・秋田での安心安全な不安のない日々が過ごせることが毎日の感謝です。ありがとうございます。
	・秋田県被災者受入支援室の皆様にはいつも良くしていただきありがとうございます。いつもありがとうございます。ありがとうございます。感謝です。
	・支援員の皆様には、いつもお声がけ頂いたり、相談事にいつも迅速に対応していただいております。引き続き、交流の場を提供していただきたく宜しくお願ひ申し上げます。
	・いつの日か福島県に帰ると思います。自分に合った住居、住居地が見つかった時に福島県に帰ります。
	・毎日のことや、賠償、通院、仕事で、手いっぱいです。余裕がありません。好きでこんな生活をしているわけじゃありません。病気になるかわつたわけでもないです。くやしい思いや、辛いことばかりです。支援を受ける余裕がないです。時間的にも、体力的にも、精いっぱいの時期に入ってます。

被災県	Q19 避難者支援に関する意見
福島県	・避難先で銀行の通帳は作れましたが、キャッシュカードは現住所(大熊町)に送られ、転送はできないと言われ諦めました。今も無理なのでしょうか？ ・がん検診も5年近く受けていません。それまで毎年受けていました。いろいろ不便でやっぱり難民だなあと情けなくなりました。
	・仙台にも避難していましたが、秋田市の方が良くして頂いてます。ただ、甲状腺検査や年に一度の体の検査を受ける病院の数が少なく、予約するのが大変です。
	・子供の健康を一番に考えており、健康診断や健診の情報をもらさず知りたい。
	・原発子ども被災者支援法、早急に中身にそったものになるよう、支援の皆さんにも声をあげて欲しいです。秋田の皆さん、いつも本当にありがとうございます。県庁受入支援室の皆さん、感謝の言葉しかありません。ありがとうございます！！
	・いつも対応、相談とても良くしてくれてありがとうございます。今後ともよろしくお願いします。 ・福島にいる夫が秋田へ避難してくることにになり家族と一緒に暮らせるよう市内での就職を考えているのですが、求人が少なく次の勤務先が決定できないまま引越になることも不安です。
	・それぞれの家庭にそれぞれの事情があります。全てが一律ではなく、それぞれの理由も聞いてみてください。原発事故は大人の責任です。そのために振り回されている子供。こんなことでこの子供たちが将来国を支えていこうという気持ちになるのでしょうか。

IV 經年比較

Ⅳ 主な設問に対する回答の経年変化(平成24年度～平成27年度)

※平成24年度については、岩手県、宮城県、福島県以外の避難者1世帯の回答があったことから既に公表されている調査結果とは異なる部分があります。また、無回答のある項目については、割合を足しても100%にならない場合があります。

【1】 避難元の県

	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
① 岩手県	12	5.0%	9	4.1%	9	5.3%	7	5.2%
② 宮城県	42	17.4%	50	22.7%	40	23.5%	25	18.7%
③ 福島県	188	77.7%	161	73.2%	121	71.2%	102	76.1%
合 計	242		220		170		134	
	回答率 42.0%		回答率 46.0%		回答率 40.8%		回答率 37.9%	

その他1あり

【2】 回答者の年代

	平成24年度				平成25年度				平成26年度				平成27年度			
	岩手県	宮城県	福島県	合計	岩手県	宮城県	福島県	合計	岩手県	宮城県	福島県	合計	岩手県	宮城県	福島県	合計
① 29歳以下	0	3	15	18	0	0	16	16	0	1	8	9	0	0	1	1
② 30代	5	15	86	106	1	17	53	71	1	10	44	55	0	3	26	29
③ 40代	3	3	50	56	2	6	48	56	2	8	39	49	2	5	39	46
④ 50代	0	6	10	16	1	8	11	20	1	9	12	22	1	5	13	19
⑤ 60代	2	11	23	36	2	12	22	36	3	9	11	23	2	10	16	28
⑥ 70代	2	2	3	7	1	5	8	14	0	2	7	9	0	2	6	8
⑦ 80代以上	0	2	1	3	2	2	3	7	2	0	0	2	2	0	1	3
合 計	12	42	188	242	9	50	161	220	9	39	121	169	7	25	102	134

無回答:1名

【3】 現在の住居

	平成24年度					平成25年度					平成26年度					平成27年度				
	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県
① 県の上昇階賃貸住宅	138	57.0%	5	16	117	119	54.1%	2	17	100	100	58.8%	2	18	80	77	57.5%	3	11	63
② 県営住宅	13	5.4%	1	3	9	8	3.8%	1	3	4	8	4.7%	1	4	3	6	4.5%	1	2	3
③ 市町村営住宅	11	4.5%	1	1	9	9	4.1%	1	2	6	7	4.1%	2	2	3	4	3.0%	2	0	2
④ 雇用促進住宅	13	5.4%	0	1	12	8	3.6%	0	1	7	6	3.5%	0	0	6	4	3.0%	0	0	4
⑤ 知人・親類宅(実家含む)	37	15.3%	3	12	22	33	15.0%	2	10	21	19	11.2%	1	5	13	11	8.2%	0	2	9
⑥ アパート等(自己所有)	19	7.9%	1	5	13	20	9.1%	0	9	11	16	9.4%	1	5	10	13	9.7%	0	7	6
⑦ 自宅(避難後に取得)			項目なし			11	5.0%	1	3	7	9	5.3%	1	2	6	18	13.4%	1	3	14
⑧ その他	11	4.5%	1	4	6	12	5.5%	2	5	5	5	2.9%	1	4	0	1	0.7%	0	0	1
合 計	242		12	42	188	220		9	50	161	170		9	40	121	134		7	25	102

【4】 世帯構成

		平成24年度					平成25年度					平成26年度					平成27年度				
		件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県
子育て世帯	母子世帯	94	38.8%	2	10	82	59	28.8%	0	4	55	46	27.1%	0	6	40	28	20.9%	0	1	27
	父子世帯	1	0.4%	0	0	1	1	0.5%	0	0	1	1	0.6%	0	0	1	0	0.0%	0	0	0
	世帯世帯	56	23.1%	3	10	43	74	33.6%	3	15	56	64	37.6%	4	11	49	41	30.8%	1	5	35
成人世帯	単身	36	14.9%	2	8	26	46	20.9%	2	16	28	36	21.2%	2	15	19	34	25.4%	3	13	18
	成人夫婦	55	22.7%	5	14	36	28	12.7%	4	9	15	17	10.0%	3	5	9	16	11.9%	3	2	11
	その他						12	5.5%	0	6	6	6	3.5%	0	3	3	15	11.2%	0	4	11
	合 計	242		12	42	188	220		9	50	161	170		9	40	121	134		7	25	102

【5】 住民票の異動について

	平成24年度					平成25年度					平成26年度					平成27年度				
	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県
① 全員異動している	81	33.5%	7	21	53	95	43.2%	7	29	59	79	46.5%	8	23	48	65	48.5%	4	18	43
② 全員異動していない	149	61.6%	3	18	128	108	49.1%	2	17	89	78	45.9%	1	10	67	60	44.8%	2	5	53
③ 一部だけ異動している	12	5.0%	2	3	7	16	7.3%	0	4	12	12	7.1%	0	6	6	8	6.0%	0	2	6
合 計	242		12	42	188	219		9	50	160	169		9	39	121	133		6	25	102

無回答:1名

無回答:1名

無回答:1名

【6】 住民票を異動しない理由(複数回答あり)

	平成24年度					平成25年度					平成26年度					平成27年度				
	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県
① 被災地との関係を保つため	28	17.4%	2	3	23	31	25.0%	1	9	21	29	32.2%	1	6	22	20	29.4%	2	3	15
② あくまで一時的な避難だから	54	33.5%	1	5	48	35	28.2%	1	5	29	15	16.7%	0	2	13	11	16.2%	0	1	10
③ 住民票を異動すると不利益がある、又はあるかもしれないから	39	24.2%	0	5	34	45	38.3%	1	4	40	40	44.4%	0	2	38	30	44.1%	1	1	28
④ 特に理由はない	14	8.7%	0	4	10	18	14.5%	0	5	13	7	7.8%	0	2	5	6	8.8%	0	1	5
⑤ その他	17	10.6%	1	2	14	19	15.3%	1	5	13	13	14.4%	0	4	9	6	8.8%	0	2	4
合 計	152		4	19	129	148		4	28	116	104		1	16	87	73		3	8	62

※割合の分母を「[5]②+③」に変更

【7】 秋田県に避難してきた理由(Q2:複数回答可)

	平成24年度					平成25年度					平成26年度					平成27年度				
	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県
① 親類や知人がいる	155	64.0%	9	29	117	142	64.5%	7	35	100	108	63.5%	7	25	76	85	63.4%	6	16	63
② 自分や家族が以前に住んだことがある	54	22.3%	5	9	40	44	20.0%	1	10	33	29	17.1%	0	5	24	32	23.9%	3	5	24
③ 会社の関係	27	11.2%	2	7	18	23	10.5%	2	9	12	19	11.2%	2	8	9	6	4.5%	1	2	3
④ 子どもの学校の関係	11	4.5%	2	1	8	10	4.5%	1	3	6	10	5.9%	1	2	7	3	2.2%	0	1	2
⑤ 行政や地域からの支援への期待	26	10.7%	1	1	24	12	5.5%	1	3	8	13	7.6%	1	2	10	6	4.5%	1	0	5
⑥ 被災地に近い	14	5.8%	2	1	11	10	4.5%	0	1	9	7	4.1%	0	0	7	6	4.5%	0	1	5
⑦ 地震や津波などの災害が少ない	48	19.8%	4	8	36	35	15.9%	1	9	25	25	14.7%	2	5	18	16	11.9%	1	3	12
⑧ 放射能汚染の心配がない	120	49.6%	2	4	114	81	36.8%	1	5	75	61	35.9%	0	3	58	48	35.8%	0	2	46
⑨ 特になし	1	0.4%	0	1	0	5	2.3%	0	2	3	4	2.4%	0	2	2	5	3.7%	0	2	3
⑩ その他	23	9.5%	0	8	15	8	3.6%	0	2	6	16	9.4%	1	4	11	15	11.2%	0	3	12
合 計	479		27	69	383	370		14	79	277	282		14	56	222	222		12	35	175

【8】 秋田県内での相談相手(Q3:複数回答可)

	平成24年度					平成25年度					平成26年度					平成27年度				
	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県
① 家族・親戚	156	64.5%	10	29	117	134	60.9%	8	32	94	108	63.5%	8	25	75	81	60.4%	7	11	63
② 友人・知人	105	43.4%	8	13	84	98	44.5%	3	21	74	80	47.1%	1	17	62	64	47.8%	3	12	49
③ 県内の他の避難者	46	18.0%	0	6	40	18	8.2%	1	2	15	14	8.2%	0	1	13	16	11.8%	0	2	14
④ 行政機関(相談員含む)	33	13.8%	3	6	24	46	20.9%	2	11	33	40	23.5%	2	10	28	27	20.1%	2	5	20
⑤ 民生・児童委員	0	0.0%	0	0	0	3	1.4%	0	1	2	1	0.8%	0	1	0	1	0.7%	0	0	1
⑥ 町内会・自治会の人	9	3.7%	2	1	6	8	3.6%	0	3	5	9	5.3%	2	5	2	7	5.2%	1	1	5
⑦ 民間の支援団体	2	0.8%	0	0	2	2	0.9%	0	0	2	1	0.8%	0	0	1	2	1.5%	1	0	1
⑧ 特定の相談相手はいない	39	16.1%	0	6	33	31	14.1%	0	9	22	20	11.8%	0	6	14	23	17.2%	0	6	17
⑨ その他	14	5.8%	0	2	12	6	2.7%	0	2	4	11	6.5%	0	4	7	6	4.5%	0	2	4
合 計	404		23	63	318	346		14	81	251	284		13	69	202	227		14	39	174

【9】 主な生活資金(Q4:複数回答可)

	平成24年度					平成25年度					平成26年度					平成27年度				
	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県
① 秋田県内で働いている方の給料	159	65.7%	7	23	129	135	61.4%	3	26	106	94	55.3%	3	24	67	69	51.5%	3	13	53
② 年金・恩給	43	17.8%	5	15	23	51	23.2%	5	20	26	34	20.0%	5	11	18	37	27.6%	5	8	24
③ 貯金	88	36.4%	3	12	73	57	25.9%	1	9	47	46	27.1%	2	11	33	31	23.1%	1	3	27
④ 親戚・知人からの援助	22	9.1%	2	2	18	11	5.0%	0	4	7	5	2.9%	0	1	4	6	4.5%	1	1	4
⑤ 雇用保険・失業手当	16	6.6%	1	2	13	3	1.4%	0	1	2	3	1.8%	0	1	2	2	1.5%	0	0	2
⑥ 生活保護	2	0.8%	0	1	1	5	2.3%	0	3	2	2	1.2%	0	1	1	4	3.0%	0	1	3
⑦ 東電の損害賠償金	63	26.0%	0	0	63	45	20.5%	0	0	45	21	12.4%	0	0	21	26	19.4%	0	0	26
⑧ 祖父母で働いている夫や家族からの仕送り						項目無し					36	21.2%	0	3	33	26	19.4%	0	1	25
⑨ その他	9	3.7%	0	1	8	15	6.8%	2	3	10	5	2.9%	1	2	2	7	5.2%	0	2	5
合 計	402		18	56	328	322		11	66	245	246		11	54	181	208		10	29	169

【10】 生活費の変化(Q5)

	平成24年度					平成25年度					平成26年度					平成27年度				
	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県
① かなりのかき増しとなっている	124	51.2%	3	16	105	104	47.3%	5	18	81	86	50.6%	2	14	70	52	38.8%	0	3	49
② 多少のかき増しとなっている	83	34.3%	8	16	59	67	30.5%	1	16	50	53	31.2%	4	16	33	51	38.1%	5	13	33
③ あまり変わらない	27	11.2%	1	8	18	41	18.6%	3	14	24	23	13.5%	2	7	14	27	20.1%	1	9	17
④ 生活費はあまりからなくなった	5	2.1%	0	1	4	8	3.6%	0	2	6	3	1.8%	0	2	1	0	0.0%	0	0	0
合 計	239		12	41	186	220		9	50	161	165		8	39	118	130		6	25	99

無回答3

無回答5

無回答4

	平成24年度					平成25年度					平成26年度					平成27年度				
	件数	割合	子育て世帯	成人世帯		件数	割合	子育て世帯	成人世帯		件数	割合	子育て世帯	成人世帯		件数	割合	子育て世帯	成人世帯	
① かなりのかき増しとなっている	124	51.9%	92	32		104	47.3%	68	36		86	50.8%	65	21		52	38.8%	35	17	
② 多少のかき増しとなっている	83	34.7%	45	38		67	30.5%	43	24		53	31.2%	33	20		51	38.1%	21	30	
③ あまり変わらない	27	11.3%	10	17		41	18.6%	21	20		23	13.5%	11	12		27	20.1%	12	15	
④ 生活費はあまりからなくなった	5	2.1%	2	3		8	3.6%	3	5		3	1.8%	1	2		0	0.0%	0	0	
合 計	239		149	90		220		135	85		165		110	55		130		68	62	

無回答3

無回答11

無回答7

無回答4

【11】 現在、同居の家族の中で、秋田県内に避難してから、「眠れない」「集中力の低下」「イライラする」といった精神面の不調や「体がだるい」「めまいや頭痛」といった身体の不調を訴えるようになった方はいますか。(Q6)

	平成24年度					平成25年度					平成26年度					平成27年度				
	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県
① いる	101	41.7%	6	19	76	95	43.2%	4	22	69	74	43.5%	4	19	51	52	38.8%	3	9	40
② いない	129	53.3%	6	19	104	114	51.8%	4	22	88	89	52.4%	4	20	65	78	58.2%	4	14	60
合 計	230		12	38	180	209		8	44	157	163		8	39	116	130		7	23	100

無回答12

無回答11

無回答7

無回答4

	平成24年度					平成25年度					平成26年度					平成27年度				
	件数	割合	子育て世帯	成人世帯		件数	割合	子育て世帯	成人世帯		件数	割合	子育て世帯	成人世帯		件数	割合	子育て世帯	成人世帯	
① いる	101	41.7%	64	37		95	43.2%	53	42		74	43.5%	53	21		52	38.8%	29	23	
② いない	129	53.3%	79	50		114	51.8%	77	37		89	52.4%	56	33		78	58.2%	39	39	
合 計	230		143	87		209		130	79		163		109	54		130		68	62	

【12】 「Q6」でいる」と答えた方にお聞きします。不調を訴える方はどなたですか。(Q6-1)

	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
① 子ども					2	2.7%	1	1.9%
② 子どもと大人			13	17.6%	14	26.9%		
③ 大人			59	79.7%	37	71.2%		
合 計					74		52	

項目なし

【13】 現在居住している市町村から提供される行政サービスで、不便を感じる分野について、お答え願います。(Q7:複数回答可)

	平成24年度					平成25年度					平成26年度					平成27年度				
	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県
① 特になし	140	57.9%	7	25	108	155	70.5%	6	33	116	111	65.3%	6	27	78	101	75.4%	6	17	78
② 育児・児童福祉	36	14.9%	1	5	30	10	4.5%	0	1	9	10	5.9%	0	1	9	5	3.7%	0	1	4
③ 障害者福祉	3	1.2%	1	1	1	3	1.4%	0	1	2	4	2.4%	0	3	1	4	3.0%	0	2	2
④ 老人福祉	2	0.8%	0	0	2	4	1.8%	1	1	2	2	1.2%	1	1	0	2	1.5%	0	1	1
⑤ 母子保護	13	5.4%	0	3	10	5	2.3%	0	1	4	2	1.2%	0	0	2	1	0.7%	0	0	1
⑥ 医療・健康	50	20.7%	4	5	41	26	11.8%	1	4	21	24	14.1%	1	5	18	12	9.0%	0	1	11
⑦ 学校教育	12	5.0%	2	1	9	6	2.7%	0	1	5	6	3.6%	0	0	6	4	3.0%	0	0	4
⑧ その他の行政サービス	16	6.6%	0	4	12	7	3.2%	0	4	3	37	21.8%	0	6	31	3	2.2%	0	0	3
合 計	272		15	44	213	216		8	46	162	196		8	43	145	132		6	22	104

【14】 支援制度など生活再建に必要な関係情報の提供が不十分と思う行政機関をお答え願います。(Q8:複数回答可)

		平成24年度					平成25年度					平成26年度					平成27年度				
		件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県
①	国	149	61.6%	6	20	123	108	46.1%	3	17	88	86	50.6%	1	12	73	49	36.6%	0	3	46
②	被災県	99	40.9%	4	11	84	67	30.5%	4	10	53	49	28.8%	0	9	40	22	16.4%	1	2	19
③	被災市町村	71	28.3%	3	7	61	55	25.0%	1	8	46	44	25.9%	3	9	32	10	7.5%	1	0	9
④	秋田県	19	7.9%	2	5	12	12	5.5%	0	2	10	8	4.7%	1	3	4	2	1.5%	0	0	2
⑤	秋田県内の居住市町村	11	4.5%	0	3	8	13	5.9%	0	2	11	13	7.6%	0	4	9	3	2.2%	0	0	3
⑥	不十分とは思わない	59	24.4%	2	15	42	66	30.0%	3	23	40	54	31.8%	4	20	30	64	47.6%	4	18	42
	合 計	408		17	61	330	321		11	62	248	254		9	57	188	150		6	23	121

		平成24年度				平成25年度				平成26年度				平成27年度			
		件数	割合	子育て世帯	成人世帯	件数	割合	子育て世帯	成人世帯	件数	割合	子育て世帯	成人世帯	件数	割合	子育て世帯	成人世帯
①	国	149	61.6%	101	48	108	49.1%	67	41	86	50.8%	62	24	49	36.6%	32	17
②	被災県	99	40.9%	68	31	67	30.5%	42	25	49	28.8%	36	13	22	16.4%	14	8
③	被災市町村	71	28.3%	50	21	55	25.0%	37	18	44	25.9%	30	14	10	7.5%	6	4
④	秋田県	19	7.9%	13	6	12	5.5%	6	6	8	4.7%	5	3	2	1.5%	1	1
⑤	秋田県内の居住市町村	11	4.5%	9	2	13	5.9%	8	5	13	7.6%	9	4	3	2.2%	2	1
⑥	不十分とは思わない	59	24.4%	31	28	66	30.0%	38	28	54	31.8%	30	24	64	47.8%	27	37
	合 計	408		272	136	321		198	123	254		172	82	150		82	68

【15】 行政機関等からの情報提供の手段として、もっと充実してほしいものをお答え願います。(Q9:複数回答可)

		平成24年度					平成25年度					平成26年度					平成27年度				
		件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県
①	広報・情報誌等の郵送	88	36.4%	8	13	67	85	38.6%	3	16	66	34	20.0%	4	6	24	31	23.1%	1	5	25
②	各行政機関のホームページ	40	16.5%	2	7	31	35	15.9%	1	7	27	7	4.1%	0	1	6	16	11.9%	3	1	12
③	サロン等の集合施設	16	6.6%	0	2	14	12	5.5%	0	4	8	10	5.9%	0	3	7	7	5.2%	0	2	5
④	マスメディアによる報道	64	26.4%	3	5	56	64	29.1%	3	8	53	47	27.6%	1	8	38	26	19.4%	1	2	23
⑤	相談会・説明会	40	16.5%	0	4	36	26	11.8%	1	3	22	17	10.0%	1	4	12	12	9.0%	0	1	11
⑥	その他	19	7.9%	1	6	12	16	7.3%	0	5	11	9	5.3%	1	2	6	15	11.2%	1	2	12
	合 計	267	1.1033	14	37	216	238		8	43	187	124		7	24	93	107		6	13	88

【16】 避難しているご家族の就労状況をお答え願います。現在避難している方の中で秋田県内で就労している方はいますか。(Q10)

		平成24年度					平成25年度					平成26年度					平成27年度				
		件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県
①	いる	項目なし										97	57.1%	3	23	71	72	53.7%	3	13	56
②	いない											65	38.2%	3	14	48	55	41.0%	2	10	43
	合 計											162		6	37	119	127		5	23	99

無回答6

無回答7

【17】 「Q10」で「いる」と答えた方にお聞きます。働いている方はどなたですか。(Q10-1)

		平成24年度					平成25年度					平成26年度					平成27年度				
		件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県
①	母子避難の母	項目なし										14	14.4%	0	1	13	13	18.1%	0	0	13
②	父子避難の父											1	1.0%	0	0	1	0	0.0%	0	0	0
③	親子全員(成人夫婦)避難の父											19	19.6%	2	7	10	8	11.1%	1	0	7
④	親子全員(成人夫婦)避難の母											6	6.2%	0	1	5	4	5.6%	0	0	4
⑤	親子全員(成人夫婦)避難の両親											28	28.9%	1	2	25	24	33.3%	0	4	20
⑥	単身避難の本人											21	21.6%	0	9	12	14	19.4%	2	6	6
⑦	その他											5	5.2%	0	3	2	9	12.5%	0	3	6
	合 計											94		3	23	68	72		3	13	56

無回答3

【18】 「Q10」で「いる」と答えた方にお聞きます。働いている方の就労形態をお答え願います。(Q10-2)

		平成24年度					平成25年度					平成26年度					平成27年度				
		件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県
①	正職員	項目なし										25	25.8%	1	10	14	14	19.4%	1	2	11
②	雇用期間が決まっている臨時社員											25	25.8%	1	5	19	16	22.2%	1	3	12
③	パート・アルバイト											13	13.4%	0	4	9	12	16.7%	1	3	8
④	両親とも働いている場合、どちらも正社員											8	8.2%	0	1	7	5	6.9%	0	1	4
⑤	両親とも働いている場合、正社員と臨時社員											6	6.2%	0	0	6	6	8.3%	0	0	6
⑥	両親とも働いている場合、正社員とパート・アルバイト											8	8.2%	1	1	6	7	9.7%	0	1	6
⑦	両親とも働いている場合、臨時社員とパート・アルバイト											2	2.1%	0	0	2	2	2.8%	0	0	2
⑧	両親とも働いている場合、どちらも臨時社員											1	1.0%	0	0	1	3	4.2%	0	1	2
⑨	両親とも働いている場合、どちらもパート・アルバイト											1	1.0%	0	0	1	0	0.0%	0	0	0
⑩	その他											5	5.2%	0	2	3	7	9.7%	0	2	5
	合 計											94		3	23	68	72		3	13	56

無回答3

【19】 「Q10」で「いない」と答えた方にお聞きます。現在、就職するためにハローワークへ登録など就職活動を行っていますか。(Q10-3)

		平成24年度					平成25年度					平成26年度					平成27年度				
		件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県
①	ハローワークに登録して就職活動を行っている	項目なし										12	18.5%	0	4	8	9	16.4%	0	1	8
②	ハローワークに登録しないが就職活動を行っている											2	3.1%	0	0	2	4	7.3%	0	1	3
③	就職したいと思っているが、現在は就職活動をしていない											21	32.3%	0	2	19	12	21.8%	0	2	10
④	就職すること考えていない											29	44.6%	2	8	19	26	47.3%	2	5	19
	合 計											64		2	14	48	51		2	9	40

無回答1

無回答4

【20】「Q10-3」で、①又は②の「就職活動を行っている」と答えた方にお聞きします。どのような職種を希望していますか。(Q10-4)

	平成24年度					平成25年度					平成26年度					平成27年度				
	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県
① 事務的職業	項目なし										6	42.9%	0	0	6	6	46.2%	0	0	6
② 専門的・技術的職業											5	35.7%	0	2	3	0	0.0%	0	0	0
③ 販売の職業											2	14.3%	0	0	2	2	15.4%	0	1	1
④ サービスの職業											4	28.6%	0	3	1	0	0.0%	0	0	0
⑤ 保安の職業											1	7.1%	0	1	0	0	0.0%	0	0	0
⑥ 輸送・機械運転の職業											1	7.1%	0	0	1	1	7.7%	0	0	1
⑦ 建設の職業											1	7.1%	0	0	1	1	7.7%	0	0	1
⑧ 農林漁業の職業											0	0.0%	0	0	0	1	7.7%	0	0	1
⑨ 運搬・清掃・包装等の職業											1	7.1%	0	0	1	2	15.4%	0	0	2
⑩ 管理的職業											1	7.1%	0	0	1	0	0.0%	0	0	0
⑪ その他											4	28.6%	0	1	3	2	15.4%	0	1	1
合 計											26		0	7	19	15		0	2	13

【21】「Q10-3」で、①又は②の「就職活動を行っている」と答えた方にお聞きします。どのような雇用形態を希望していますか。(Q10-5)

	平成24年度					平成25年度					平成26年度					平成27年度				
	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県
① 正社員	項目なし										3	21.4%	0	1	2	3	23.1%	0	0	3
② 雇用期間が決められた臨時社員											3	21.4%	0	0	3	3	23.1%	0	1	2
③ パート・アルバイト											8	57.1%	0	2	6	5	38.5%	0	0	5
④ その他											1	7.1%	0	1	0	3	23.1%	0	1	2
合 計											15		0	4	11	14		0	2	12

【22】 今後の予定について、お答え願います。(Q13)

	平成24年度					平成25年度					平成26年度					平成27年度				
	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県
① 帰郷する時期を決めている	16	6.6%	0	0	16	11	5.0%	0	3	8	8	4.7%	0	2	6	7	5.2%	1	2	4
② 他県へ移動する時期を決めている	5	2.1%	0	1	4	3	1.4%	0	0	3	3	1.8%	0	0	3	4	3.0%	0	0	4
③ いずれは帰郷したいが、時期は決めていない	92	38.0%	3	11	78	72	32.7%	3	12	56	35	20.6%	1	8	26	27	20.1%	0	1	26
④ すでに秋田県に定住している	0	0.0%	項目なし			35	15.9%	3	11	21	22	12.9%	3	7	12	25	18.7%	2	6	17
⑤ 秋田県に定住したい・定住を決めている	53	21.9%	3	13	37	47	21.4%	2	13	32	49	28.8%	2	11	36	40	29.9%	0	8	32
⑥ 他の都道府県に定住したい	0	0.0%	0	0	0	3	1.4%	0	0	3	5	2.9%	0	1	4	0	0.0%	0	0	0
⑦ 未定	72	29.8%	6	16	50	46	20.9%	1	10	35	40	23.5%	1	10	29	27	20.1%	3	6	18
合 計	238		12	41	185	217		9	49	158	162		7	39	116	130		6	23	101

無回答4

無回答3

無回答8

無回答4

	平成24年度				平成25年度				平成26年度				平成27年度			
	件数	割合	子育て世帯	成人世帯	件数	割合	子育て世帯	成人世帯	件数	割合	子育て世帯	成人世帯	件数	割合	子育て世帯	成人世帯
① 帰郷する時期を決めている	16	6.6%	8	8	11	5.0%	10	1	8	4.7%	6	2	7	5.2%	5	2
② 他県へ移動する時期を決めている	5	2.1%	4	1	3	1.4%	3	0	3	1.8%	3	0	4	3.0%	2	2
③ いずれは帰郷したいが、時期は決めていない	92	38.0%	54	38	72	32.7%	39	33	35	20.6%	23	12	27	20.1%	15	12
④ すでに秋田県に定住している	0	0.0%	項目なし		35	15.9%	23	12	22	12.9%	13	9	25	18.7%	14	11
⑤ 秋田県に定住したい・定住を決めている	53	21.9%	33	20	47	21.4%	28	19	49	28.8%	29	20	40	29.9%	19	21
⑥ 他の都道府県に定住したい	0	0.0%	0	0	3	1.4%	1	2	5	2.9%	5	0	0	0.0%	0	0
⑦ 未定	72	29.8%	49	23	46	20.9%	29	17	40	23.5%	26	14	27	20.1%	14	13
合 計	238		148	90	217		133	84	162		105	57	130		69	61

【23】「Q13」で「⑤秋田県に定住したい・定住を決めている」方に伺います。どの程度の期間を想定しているのかお答え願います。(Q13-1)

	平成24年度					平成25年度					平成26年度					平成27年度				
	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県
① 永住したい	項目なし					26	55.3%	1	7	18	28	57.1%	1	9	18	22	55.0%	0	6	16
② 今の就職先を定年退職するまで						0	0.0%	0	0	0	2	4.1%	0	1	1	2	5.0%	0	1	1
③ 子どもが独立するまで						3	6.4%	0	1	2	5	10.2%	1	0	4	7	17.5%	0	1	6
④ 子どもが高校卒業するまで						3	6.4%	0	0	3	4	8.2%	0	0	4	2	5.0%	0	0	2
⑤ 子どもが義務教育終了するまで						2	4.3%	0	0	2	2	4.1%	0	0	2	2	5.0%	0	0	2
⑥ 県外で就職先を募つけるまで						1	2.1%	0	0	1	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
⑦ 住宅の借上制度が終了するまで						4	8.5%	0	3	1	3	6.1%	0	1	2	2	5.0%	0	0	2
⑧ その他						5	10.6%	1	1	3	4	8.2%	0	0	4	2	5.0%	0	0	2
合 計						44		2	12	30	48		2	11	35	39		0	8	31

無回答3

無回答1

無回答1

【24】「Q13」で「④すでに秋田県に定住している」「⑤秋田県に定住したい・定住を決めている」方に伺います。秋田県を定住先と決めた一番の理由をお答え願います。(Q13-2)

	平成24年度					平成25年度					平成26年度					平成27年度				
	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県
① 家族の中に秋田県出身者がいる	項目なし										24	33.8%	2	8	14	19	29.2%	1	3	15
② 親戚や知人がいる											35	49.3%	2	12	21	20	30.8%	1	4	15
③ 教育環境や子どもの学校関係											3	4.2%	0	1	2	12	18.5%	0	2	10
④ 行政や地域の支援体制											1	1.4%	0	1	0	2	3.1%	0	1	1
⑤ 地震や津波などの災害が少ない											8	11.3%	0	3	5	8	12.3%	0	2	6
⑥ 放射能汚染の心配がない											14	19.7%	0	1	13	15	23.1%	0	0	15
⑦ 生活がしやすい											3	4.2%	0	2	1	3	4.6%	0	0	3
⑧ 仕事が決まった(自営含む)											6	8.5%	0	1	5	5	7.7%	0	2	3
⑨ その他											8	11.3%	1	2	5	6	9.2%	0	2	4
合 計											102		5	31	66	90		2	16	72

【25】 「Q13」で「⑤秋田県に定住したい・定住を決めている」方に伺います。定住を考えるにあたり、どのような支援を望むかお答え願います。（Q13－3：複数回答可）

	平成24年度					平成25年度					平成26年度					平成27年度				
	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県
① 医療・福祉の助成	項目なし					12	25.5%	1	3	8	23	48.9%	1	4	18	13	32.5%	0	0	13
② 不動産情報（空き家・空き地）の提供						21	44.7%	2	5	14	16	32.7%	1	2	13	14	35.0%	0	2	12
③ 住宅購入・リフォームに対する支援						16	34.0%	0	4	12	24	49.0%	0	4	20	11	27.5%	0	0	11
④ 公営住宅への優先入居						15	31.9%	1	5	9	19	38.8%	1	8	10	14	35.0%	0	6	8
⑤ 育児・教育の助成						11	23.4%	0	0	11	17	34.7%	1	2	14	10	25.0%	0	0	10
⑥ 公共交通機関の利用助成						5	10.6%	1	0	5	5	10.2%	0	2	3	6	15.0%	0	0	6
⑦ 就業支援						14	29.8%	2	2	10	13	26.5%	1	3	9	10	25.0%	0	0	10
⑧ 起業支援・経費助成						2	4.3%	0	1	1	2	4.1%	0	2	0	2	5.0%	0	0	2
⑨ 既移住者とのネットワーク形成、体験後を聞く機会の設定						5	10.6%	1	2	2	1	2.0%	0	1	0	0	0.0%	0	0	0
⑩ 地元住民との交流会の開催						5	10.6%	0	2	3	2	4.1%	0	2	0	3	7.5%	0	0	3
⑪ その他						1	2.1%	0	0	1	0	0.0%	0	0	0	4	10.0%	0	2	2
合 計						107		8	24	76	122		5	30	87	87		0	10	77

【26】 「Q13」で「⑤秋田県に定住したい・定住を決めている」方に伺います。秋田県への定住を考えるにあたり、住居としてどこを考えていますか。（Q13－4）

	平成24年度					平成25年度					平成26年度					平成27年度				
	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県
① 住宅購入（建築）	項目なし										18	36.7%	0	4	14	13	32.5%	0	1	12
② 県営等の公営住宅											20	40.8%	1	7	12	14	35.0%	0	6	8
③ 賃貸マンション・アパート											7	14.3%	0	2	5	12	30.0%	0	1	11
④ 自家・知人宅											3	6.1%	1	0	2	3	7.5%	0	0	3
⑤ その他											3	6.1%	0	0	3	2	5.0%	0	0	2
合 計											51		2	13	36	44		0	8	36

【27】 「Q13」で「③いずれは帰県したいが、時期を決めていない」方に伺います。決められない主な理由をお答え願います。（Q14：複数回答可）

	平成24年度					平成25年度					平成26年度					平成27年度				
	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県
① 被災地での住宅が確保できない	28	30.4%	5	7	16	25	34.7%	3	9	13	10	28.6%	1	4	5	4	14.8%	0	0	4
② 県の農業など被災地の復興の目的が不明	36	39.1%	6	3	27	27	37.5%	1	3	23	7	20.0%	1	1	5	7	25.9%	0	0	7
③ 被災地の除染の目的が不明	58	63.0%	1	0	57	34	47.2%	0	0	34	9	25.7%	0	0	9	9	33.3%	0	0	9
④ 放射能による健康への影響が不安	74	80.4%	0	1	73	46	63.9%	0	1	45	18	51.4%	0	0	18	13	48.1%	0	0	13
⑤ 被災地での仕事が見つからない	24	26.1%	2	7	15	21	29.2%	0	3	18	5	14.3%	0	0	5	5	18.5%	0	0	5
⑥ 子どもの育児・教育を優先したい	33	35.9%	1	2	30	23	31.9%	1	1	21	9	25.7%	0	1	8	7	25.9%	0	0	7
⑦ 福島県内で自主避難者の施設がない	8	8.7%	0	0	8	2	2.8%	0	0	2	0	0.0%	0	0	0	1	3.7%	0	0	1
⑧ 避難元の市町村等からの指示に従いたい	5	5.4%	1	0	4	6	8.3%	0	2	4	0	0.0%	0	0	0	1	3.7%	0	0	1
⑨ その他	11	12.0%	2	1	8	6	8.3%	0	2	4	9	25.7%	0	4	5	3	11.1%	0	1	2
合 計	277		18	21	238	190		5	21	164	67		2	10	55	50		0	1	49

【28】 今、必要としている支援について、下の事項から4つ以内で選択してください。（Q15）

	平成24年度					平成25年度					平成26年度					平成27年度				
	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県
① 就労関係	45	18.8%	3	8	34	42	19.1%	2	7	33	43	25.3%	1	9	33	30	22.4%	0	5	25
② 避難生活に対する助成	109	45.0%	6	15	88	82	37.3%	2	17	63	66	38.8%	2	11	53	45	33.6%	2	5	38
③ 障害者福祉サービス	6	2.5%	1	0	5	8	2.7%	1	3	2	6	3.5%	2	3	1	7	5.2%	1	3	3
④ 介護サービス	3	1.2%	0	1	2	5	2.3%	1	1	3	5	2.9%	2	3	0	2	1.5%	0	0	2
⑤ 医療費の助成	69	28.5%	8	14	47	60	27.3%	4	16	40	49	28.8%	3	11	35	28	20.9%	2	4	22
⑥ 心身の健康の保持	24	9.9%	0	2	22	17	7.7%	0	4	13	12	7.1%	2	4	6	15	11.2%	2	3	10
⑦ 育児・子育て	45	18.8%	1	9	35	32	14.5%	1	6	25	24	14.1%	1	4	19	14	10.4%	0	1	13
⑧ 子どもの教育・学習	34	14.0%	3	4	27	34	15.5%	0	4	30	28	16.5%	1	3	24	25	18.7%	0	2	23
⑨ 被災地からの情報提供	53	21.9%	6	7	40	40	18.2%	4	5	31	11	6.5%	0	3	8	14	10.4%	2	1	11
⑩ 秋田での暮らしの総合相談	14	5.8%	0	5	9	13	5.9%	0	5	8	7	4.1%	1	4	2	12	9.0%	1	3	8
⑪ 避難者交流会の開催	10	4.1%	0	3	7	13	5.9%	2	3	8	7	4.1%	0	3	4	10	7.5%	0	1	9
⑫ 各種イベントへの招待	15	6.2%	1	0	14	22	10.0%	2	2	18	16	9.4%	2	2	12	12	9.0%	0	4	8
⑬ 生活再建にかかる相談	15	6.2%	0	5	10	17	7.7%	1	4	12	10	5.9%	1	4	5	7	5.2%	1	1	5
⑭ 放射能にかかる健康相談・検診	88	36.4%	0	3	85	52	23.6%	0	1	51	30	17.6%	0	2	28	18	13.4%	0	0	18
⑮ 原発事故の損害賠償の相談	52	21.5%	0	2	50	31	14.1%	0	0	31	19	11.2%	0	1	18	13	9.7%	0	0	13
⑯ 被災地への帰還（一時帰還を含む）	21	8.7%	1	2	18	11	5.0%	0	1	10	12	7.1%	0	2	10	9	6.7%	1	0	8
⑰ その他	22	9.1%	0	6	16	10	4.5%	0	3	7	10	5.9%	0	2	8	9	6.7%	0	2	7
合 計	625		30	86	509	497		20	82	385	355		18	71	266	270		12	35	223

	平成24年度				平成25年度				平成26年度				平成27年度			
	件数	割合	子育て世帯	成人世帯	件数	割合	子育て世帯	成人世帯	件数	割合	子育て世帯	成人世帯	件数	割合	子育て世帯	成人世帯
① 就労関係	45	18.8%	30	15	42	19.1%	28	14	43	25.3%	33	10	30	22.4%	19	11
② 避難生活に対する助成	109	45.0%	80	29	82	37.3%	55	27	66	38.8%	48	18	45	33.6%	25	20
③ 障害者福祉サービス	6	2.5%	4	2	8	2.7%	2	4	6	3.5%	2	4	7	5.2%	2	5
④ 介護サービス	3	1.2%	2	1	5	2.3%	1	4	5	2.9%	1	4	2	1.5%	0	2
⑤ 医療費の助成	69	28.5%	49	20	60	27.3%	42	18	49	28.8%	37	12	28	20.9%	17	11
⑥ 心身の健康の保持	24	9.9%	12	12	17	7.7%	9	8	12	7.1%	5	7	15	11.2%	7	8
⑦ 育児・子育て	45	18.8%	38	7	32	14.5%	31	1	24	14.1%	23	1	14	10.4%	14	0
⑧ 子どもの教育・学習	34	14.0%	32	2	34	15.5%	31	3	28	16.5%	27	1	25	18.7%	25	0
⑨ 被災地からの情報提供	53	21.9%	30	23	40	18.2%	23	17	11	6.5%	5	6	14	10.4%	6	8
⑩ 秋田での暮らしの総合相談	14	5.8%	5	9	13	5.9%	9	4	7	4.1%	3	4	12	9.0%	4	8
⑪ 避難者交流会の開催	10	4.1%	5	5	13	5.9%	3	10	7	4.1%	4	3	10	7.5%	5	5
⑫ 各種イベントへの招待	15	6.2%	10	5	22	10.0%	14	8	16	9.4%	7	9	12	9.0%	7	5
⑬ 生活再建にかかる相談	15	6.2%	5	10	17	7.7%	9	8	10	5.9%	3	7	7	5.2%	2	5
⑭ 放射能にかかる健康相談・検診	88	36.4%	73	15	52	23.6%	44	8	30	17.6%	24	6	18	13.4%	15	3
⑮ 原発事故の損害賠償の相談	52	21.5%	32	20	31	14.1%	22	9	19	11.2%	15	4	13	9.7%	9	4
⑯ 被災地への帰還（一時帰還を含む）	21	8.7%	9	12	11	5.0%	5	6	12	7.1%	6	6	9	6.7%	3	6
⑰ その他	22	9.1%	11	11	10	4.5%	8	2	10	5.9%	7	3	9	6.7%	4	5
合 計	625		427	198	497		336	151	355		250	105	270		164	106

V 調査票

県内避難者アンケート調査票

このアンケートは、世帯主（主として家計を維持している者）がご記入ください。

なお、世帯主が避難元の住居にとどまっている等の場合は、現に避難されている方々の代表者の方がお答えください。(該当する番号を「○」囲んでください。または、() 内にご記入ください。)

1 ご家族の状況について

Q1 ご家族の状況等についてお答えください。

記入者	【区分】	① 世帯主	② 代表者				
	【性別】	① 男	② 女				
	【年代】	① 29歳以下	② 30代	③ 40代	④ 50代	⑤ 60代	⑥ 70代
記入者の名前	() ※支援等の連絡をする場合がありますので、出来る限りご記入くださるようお願いいたします。						
被災元の居住地	① 岩手県 ② 宮城県 ③ 福島県 ④ その他 ()						
	市町村名ついて具体的に記入してください。 ()						
現在の居住地	市町村名について具体的に記入してください。 ()						
	① 県の借上民間賃貸住宅 ② 県営住宅 ③ 市町村営住宅 ④ 雇用促進住宅 ⑤ 知人・親類（実家含）宅 ⑥ アパート等（家賃は自己負担） ⑦ 自宅（避難後に取得） ⑧ その他 ()						
避難の状況	① 母子避難（子どもが18歳以下） ② 父子避難（子どもが18歳以下） ③ 親子全員避難（子どもが18歳以下） ④ 成人夫婦避難 ⑤ 単身避難 ⑥ その他（①～⑤に当てはまらない場合）						
住民票について	現在、居住している県内の市町村に住民票を異動していますか。						
	① 全員異動している ② 全員異動していない ③ 一部だけ異動している（異動していない方 続柄)						
	住民票を異動しない理由を伺います。						
	① 被災地との関係を保つため ② あくまで一時的な避難だから ③ 住民票を異動をすると不利益がある、又はあるかもしれないから ④ 特に理由はない ⑤ その他（具体的に：)						

2 避難の状況について

Q2 秋田県に避難してきた理由についてお答え願います。(複数回答可)

- ① 親類や知人がいる ② 自分や家族が以前に住んだことがある
- ③ 会社の関係 ④ 子どもの学校の関係
- ⑤ 行政や地域の支援への期待 ⑥ 被災地に近い
- ⑦ 地震や津波などの災害が少ない ⑧ 放射能汚染の心配がない
- ⑨ 特になし
- ⑩ その他(具体的に: _____)

Q3 日常生活での困り事について、秋田県内での相談相手はどのような方ですか。(複数回答可)

- ① 家族・親戚 ② 友人・知人 ③ 県内の他の避難者
- ④ 行政機関(相談員を含む) ⑤ 民生・児童委員
- ⑥ 町内会・自治会の人 ⑦ 民間の支援団体
- ⑧ 特定の相談相手はいない ⑨ その他(具体的に: _____)

Q4 現在避難している世帯の主な生活資金について、お答え願います。(複数回答可)

- ① 秋田県内で働いている方の給料 ② 年金・恩給 ③ 貯金
- ④ 親戚・知人からの援助 ⑤ 雇用保険や失業手当 ⑥ 生活保護
- ⑦ 東電の損害賠償金 ⑧ 避難元等で働いている夫や家族からの仕送り
- ⑨ その他(具体的に: _____)

Q5 被災前と比較し、現在の生活費はどのような変化がありましたか。

- ① かなりのかかり増しとなっている ② 多少のかかり増しとなっている
- ③ あまり変わらない ④ 生活費はあまりかからなくなった

Q6 現在、同居の家族の中で、秋田県内に避難してから、「眠れない」「集中力の低下」「イライラする」といった精神面の不調や「体がだるい」「めまいや頭痛」といった身体の不調を訴えるようになった方はいますか。

- ① いる ② いない

Q6-1 Q6で「いる」と答えた方にお聞きします。不調を訴える方はどなたですか。

- ① 子ども(18歳未満) ② 子どもと大人 ③ 大人

Q6-2 Q6-1で不調を訴える方はどのような症状を訴えていますか。

(具体的に)

Q6-3 県では、希望される方に対しまして、保健師等が訪問し健康等上記の悩みに関する相談活動を行っております。訪問相談を希望しますか。

- ① 希望する ② 希望しない

※ 希望する方は、個別票にてご連絡ください。

3 避難先での行政サービス

Q7 現在居住している市町村から提供される行政サービスで、不便を感じる分野について、お答え願います。(複数回答可)

- ① 特になし ② 育児・児童福祉 ③ 障害者福祉 ④ 老人福祉
⑤ 母子保健 ⑥ 医療・健康 ⑦ 学校教育 ⑧ その他

(サービスの中で不便を感じる具体的な内容)

4 避難者の支援

Q8 支援制度など生活再建に必要な関係情報の提供が不十分と思う行政機関をお答え願います。(複数回答可)

- ① 国 ② 被災県 ③ 被災市町村 ④ 秋田県
⑤ 秋田県内の居住市町村 ⑥ 不十分とは思わない

Q9 行政機関等からの情報提供の手段として、もっと充実してほしいものをお答え願います。(複数回答可)

- ① 広報・情報誌等の郵送 ② 各行政機関のホーム・ページ
- ③ サロン等の拠点施設 ④ マスメディアによる報道
- ⑤ 相談会・説明会 ⑥ その他（具体的に： ）

5 就労の希望

Q10 避難しているご家族の就労状況をお答え願います。現在避難している方の中で秋田県内で就労している方はいますか。

- ① いる ➡ Q10-1~2へ
② いない ➡ Q10-3~5へ

Q10-1 「Q10」で「①いる」と答えた方にお聞きします。働いている方はどなたですか。

- ① 母子避難の母 ② 父子避難の父 ③ 親子全員（成人夫婦）避難の父
④ 親子全員（成人夫婦）避難の母 ⑤ 親子全員（成人夫婦）避難の両親
⑥ 単身避難の本人 ⑦ その他（具体的に：_____）

Q10-2 「Q10」で「①いる」と答えた方にお聞きします。働いている方の就労形態をお答え
願います。

- ① 正社員
- ② 雇用期間が決まっている臨時社員
- ③ パート・アルバイト
- ④ 親子全員(成人夫婦)避難の両親とも働いている場合、どちらも正社員
- ⑤ 親子全員(成人夫婦)避難の両親とも働いている場合、正社員と臨時社員
- ⑥ 親子全員(成人夫婦)避難の両親とも働いている場合、正社員とパート・アルバイト
- ⑦ 親子全員(成人夫婦)避難の両親とも働いている場合、どちらも臨時社員
- ⑧ 親子全員(成人夫婦)避難の両親とも働いている場合、臨時社員とパート・アルバイト
- ⑨ 親子全員(成人夫婦)避難の両親とも働いている場合、どちらもパート・アルバイト
- ⑩ その他

Q10-3 「Q10」で「②いない」と答えた方にお聞きます。現在、就職をするためにハローワークへ登録など就職活動を行っていますか。

- ① ハローワークに登録して就職活動をしている
- ② ハローワークに登録しないで就職活動をしている
- ③ 就職したいと思っているが、現在は就職活動をしていない
- ④ 就職することは考えていない

Q10-4 「Q10-3」で、①又は②の「就職活動をしている」と答えた方にお聞きます。どのような職種を希望していますか。

- ① 事務的職業 ② 専門的・技術的職業 ③販売の職業 ④サービスの職業
⑤ 保安の職業 ⑥ 輸送・機械運転の職業 ⑦建設の職業 ⑧農林漁業の職業
⑨ 運搬・清掃・包装等の職業 ⑩管理的職業
⑪ その他(具体的に:)

Q10-5 「Q10-3」で、①又は②の「就職活動をしている」と答えた方にお聞きます。どのような雇用形態を希望していますか。

- ① 正社員 ② 雇用期間が決められた臨時社員 ③ パート・アルバイト
④ その他(具体的に:)

Q11 起業・創業を希望する方は、お答え願います。

- ① 起業・創業を希望する ② 支援制度を知りたい

※ 支援機関・団体をご紹介しますので、個別票にてご連絡ください。

Q12 農林水産業への従事を希望する方は、お答え願います。

- ① 経験があるので、直ちに従事したい
- ② 研修を受けてみたい
- ③ 支援制度を知りたい

※ 支援機関・団体をご紹介しますので、個別票にてご連絡ください。

6 今後の予定について

Q13 今後の予定について、お答え願います。

- [illegible]

Q13-1 秋田県内への定住について、どの程度の期間を想定していますか。

- ① 永住したい
- ② 今の就職先を定年退職するまで
- ③ 子どもが独立するまで
- ④ 子どもが高校を卒業するまで
- ⑤ 子どもが義務教育を終了するまで
- ⑥ 県外で就職先を見つけるまで
- ⑦ 住宅の借上制度が終了するまで
- ⑧ その他（具体的に：

Q13-2 秋田県を定住先として決めた一番の理由をお答え願います。

- | | |
|------------------|-----------------|
| ① 家族の中に秋田県出身者がいる | ② 親類や知人がいる |
| ③ 教育環境や子どもの学校の関係 | ④ 行政や地域の支援体制 |
| ⑤ 地震や津波などの災害が少ない | ⑥ 放射能汚染の心配がない |
| ⑦ 生活がしやすい | ⑧ 仕事が決まった(自営含む) |
| ⑨ その他(具体的に: |) |

Q13-3 秋田県への定住を考えるにあたり、どのような支援を望みますか。(複数回答可)

- ① 医療・福祉の助成
- ② 不動産情報(空き家、空き地)の提供
- ③ 住宅購入・リフォームに対する支援
- ④ 公営住宅への優先入居
- ⑤ 育児・教育の助成
- ⑥ 公共交通機関の利用助成
- ⑦ 就業支援
- ⑧ 起業支援・経費助成
- ⑨ 既移住者とのネットワーク形成、体験談を聞く機会の設定
- ⑩ 地元住民との交流会の開催
- ⑪ その他(具体的に:

Q13-4 秋田県への定住を考えるにあたり、住居としてどこを考えていますか。

- ① 住宅を購入(建築)
- ② 公営住宅(県営住宅・市町村営住宅)  別添の調査票にご記入下さい。
- ③ 賃貸(マンション・アパート・戸建て住宅)
- ④ 実家・知人宅
- ⑤ その他(具体的に:

Q14 「Q13」で「③いずれは帰県したいが、時期を決めていない」方に伺います。決められない主な理由をお答え願います。(複数回答可)

- ① 被災地での住宅が確保できない
- ② 街の再生など被災地の復興の目処が不明
- ③ 被災地の除染の目処が不明
- ④ 放射能による健康への影響が不安
- ⑤ 被災地での仕事が見つからない
- ⑥ 子どもの育児、教育を優先したい
- ⑦ 福島県内で自主避難者用の施設がない
- ⑧ 避難元の市町村等からの指示に従いたい
- ⑨ その他(具体的に:

7 支援の要望について

Q15 今、必要としている支援について、下の事項から4つ以内で選択してください。

- | | |
|----------------|--------------------|
| ① 就労関係 | ② 避難生活に対する助成 |
| ③ 障害者福祉サービス | ④ 介護サービス |
| ⑤ 医療費の助成 | ⑥ 心身の健康の保持 |
| ⑦ 育児・子育て | ⑧ 子どもの教育・学習 |
| ⑨ 被災地からの情報提供 | ⑩ 秋田での暮らしの総合相談 |
| ⑪ 避難者交流会の開催 | ⑫ 各種イベントへの招待 |
| ⑬ 生活再建にかかる相談 | ⑭ 放射能にかかる健康相談・検診 |
| ⑮ 原発事故の損害賠償の相談 | ⑯ 被災地への帰還（一時帰還を含む） |
| ⑰ その他（具体的に： | ） |

Q16 秋田県や、今居住している市町村に対する要望を自由にお書きください。

Q17 国に対する要望を自由にお書きください。

Q18 避難元の県や市町村に対する要望を自由にお書きください。

Q19 その他避難者支援に関するご意見を自由にお書きください。

アンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。

本アンケート調査票を同封の返信用封筒により、7月3日（金）までに返送ください。

なお、本アンケート調査の集計結果については、県のホームページ等により公表するほか被災県にも提供しますが、個人が特定されることのないよう十分に配慮します。

担当・問い合わせ先

秋田県総合政策課被災者受入支援室

TEL 018-860-4504 FAX018-860-4520